

# 自立した消費者の育成を目指した 小学校家庭科「C消費生活・環境」の 学習に関する研究

—児童の実態や地域に応じた題材の構成を通して—

## 《補助資料目次》

ページ

- 1 【補助資料1-1】 消費者教育のそれぞれの領域で育むべき力（目標）
- 2 【補助資料1-2】 消費者教育の体系イメージマップ
- 3 【補助資料2】 題材の構成
- 4 【補助資料3】 題材全体を通じた学習の流れ
- 5 【補助資料4】 指導計画例1～3（試案）
- 11 【補助資料5】 家庭科の学習に関わる学習前アンケート（児童）
- 15 【補助資料6】 家庭科の学習に関わる学習前アンケート（児童）の結果
- 19 【補助資料7】 宮野目小学校版の指導計画
- 21 【補助資料8】 各時間の指導略案（全6時間）
- 27 【補助資料9】 「C消費生活・環境」の指導事項
- 28 【補助資料10】 「知識及び技能」の習得に係る確認問題とその結果
- 31 【補助資料11】 学んだことを実践することに係る事後アンケートの結果
- 33 【補助資料12】 米を選ぶ活動の様子の詳細
- 35 【補助資料13】 文房具（ノート）を選ぶ活動の様子の詳細
- 38 【補助資料14】 「思考力、判断力、表現力等」の育成に係る確認問題とその結果
- 39 【補助資料15】 購入する物を選ぶ活動の必要性に係る事後アンケートの結果
- 41 【補助資料16】 完成した指導計画例1～3
- 47 【補助資料17】 完成した活用の手引
- 51 【参考資料1～3】 学習前アンケート（完成版）、題材を構成するためのチェックリスト（完成版）  
題材全体を通じた学習の流れ（完成版）

令和6年3月

岩手県立総合教育センター

情報・産業教育担当

中村 さやか

加藤 佳昭

菅野 浩史

## 【補助資料 1 - 1】消費者教育のそれぞれの領域で育むべき力（目標）

### Ⅱ 消費者教育の推進の基本的な方向

#### 2 体系的推進のための取組の方向

##### (1) 消費者教育が育むべき力

消費者教育の範囲は広く、消費生活のあらゆる領域に関連するが、その対象領域を次のとおり四つに分類し、それぞれの領域で育むべき力（目標）を示す。

##### ①消費者市民社会の構築に関する領域

- ア 自らの消費が環境、経済、社会及び文化等の幅広い分野において、他者に影響を及ぼし得るものであることを理解し、適切な商品やサービスを選択できる力
- イ 持続可能な社会の必要性に気づき、その実現に向けて多くの人々と協力して取り組むことができる力
- ウ 消費者が、個々の消費者の特性や消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、主体的に社会参画することの重要性を理解し、他者と協働して消費生活に関連する諸課題の解決のために行動できる力

##### ②商品等やサービスの安全に関する領域

- ア 商品等やサービスの情報収集に努め、内在する危険を予見し、安全性に関する表示等を確認し、危険を回避できる力
- イ 商品等やサービスによる事故・危害が生じた際に、事業者に対して補償や改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力

##### ③生活の管理と契約に関する領域

- ア 適切な情報収集と選択による、将来を見通した意思決定に基づき、自らの生活の管理と健全な家計運営をすることができる力
- イ 契約締結による権利や義務を明確に理解でき、違法・不公正な取引や勧誘に気づき、トラブルの回避や事業者等に対して補償、改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力

##### ④情報とメディアに関する領域

- ア 高度情報化社会における情報や通信技術の重要性を理解し、情報の収集・発信により消費生活の向上や消費者市民社会の構築に役立てることができる力
- イ デジタルサービスの仕組みやリスクを理解し、また、情報、メディアを批判的に吟味して適切な行動をとるとともに、個人情報管理や知的財産保護等、様々な情報を読み解く力を身に付け、活用できる力

「消費者教育の推進に関する基本的な方針」平成 25 年 6 月 28 日閣議決定  
(令和 5 年 3 月 28 日変更)

【補助資料1-2】消費者教育の体系イメージマップ

各期の特徴 重点領域	成人期				Ver.1.0			
	特に若者	成人一般	特に高齢者					
消費者市民社会の構築	幼児期	様々な気づきの体験を通して、家族や身の回りの物事に興味をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通して、消費者としての素地の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を理解し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の管理や計画の重要性、社会的責任を理解し、主体的な判断が望まれる時期	生活において自立を進め、消費生活のスタイルや価値観を確立し自らの行動を始める時期	精神的、経済的に自立し、消費者市民社会の構築に、様々な人と協働し取り組む時期	周囲の支援を受けつつも人生での豊富な経験や知識を消費者市民社会構築に活かす時期
	消費がもつ影響力の理解	おつかいやいや買物に関心を持とう	消費をめぐる物と金銭の流れを考えよう	消費者の行動が環境や経済に与える影響を考えよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響を考慮する習慣を身に付けよう	生産・流通・消費・廃棄が環境、経済、社会に与える影響に配慮して行動しよう	消費者の行動が環境、経済、社会に与える影響を考慮することの大切さを伝えよう	消費可能な社会について伝えよう
	持続可能な消費の実践	身の回りのものを大切にしよう	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方を工夫しよう	消費生活が環境に与える影響を考慮し、環境に配慮した生活を実践しよう	持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを実践しよう	持続可能な社会について伝えよう	持続可能な社会に役立つライフスタイルについて伝えよう
	消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会課題の解決や、公正な社会の形成について考えよう	身近な消費者問題や、公正な社会の形成に向けた行動の場をを広げよう	消費者問題その他の社会課題の解決や、公正な社会の形成に向けた行動の場をを広げよう	地域や職場で協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくらう	支え合いながら協働して消費者問題その他の社会課題を解決し、公正な社会をつくらう
	商品等の安全	くらしの中の危険や、もの安全な使い方に気づこう	危険を回避し、物を安全に使う手がかりを知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手段を知り、使おう	安全で危険の少ないくらしと消費社会を目指すことの大切さを理解しよう	安全で危険の少ないくらし方をすすめる習慣を付けよう	安全で危険の少ないくらしと消費社会をつくらう	安全で危険の少ないくらしの大切さを伝えよう
	生活の管理と契約	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	販売方法の特徴を知り、トラブル解決の法律や制度、相談機関を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関の利用法を知ろう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用する習慣を付けよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しやすい社会をつくらう	支え合いながらトラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう
	選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やきまりを守ろう	物の選び方、買い方を考え、適切に購入しよう	商品を通じて選択するとともに、契約とそのルールを知り、よりよい契約の仕方を考えよう	適切な意思決定に基づいて行動しよう	契約の内容・ルールを理解し、よく確認して契約する習慣を付けよう	契約とそのルールを理解し、くらしに活かそう	契約トラブルに遭遇しない暮らしの知恵を伝えよう
	生活を設計・管理する能力	欲しいものがあつたときは、よく考え、時には我慢することを覚えよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	消費に関する生活管理の技能を活用しよう	主体的に生活設計を立ててみよう	生涯を見通した計画的な暮らしを目指して、生活設計・管理を実践しよう	経済社会の変化に対応し、生涯を見通した計画的な暮らしをしよう	生活環境の変化に対応し支え合いながら生活を管理しよう
	情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知らう	消費生活に関する情報の収集と発信の技能を身に付けよう	情報・情報技術の適切な利用法や、国内だけでなく国際社会との関係を考えよう	情報と情報技術を適切に利用する習慣を身に付けよう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう	支え合いながら情報と情報技術を適切に利用しよう
	情報とメディア	自分や家族を大切にしよう	自分や知人の個人情報を守るなど、情報モラルを守ろう	著作権や発信した情報への責任を知ろう	望ましい情報社会のあり方や、情報モラル、セキュリティについて考えよう	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう	トラブルが少なく、情報が守られる情報社会をつくらう	支え合いながら、トラブルが少なく、情報が守られる情報社会をつくらう
消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から「なぜ」どうしてかを考えよう	消費生活情報の目的や特徴、選択の大切さを知らう	消費生活情報の評価、選択の方法について学び、意思決定の大切さを知らう	消費生活情報を評価、選択の方法について学び、社会との関連を理解しよう	消費生活情報を主体的に吟味する習慣を付けよう	消費生活情報を主体的に評価して行動しよう	支え合いながら消費生活情報を上手に取り入れよう	

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を進めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。



## (5) 題材の構成

題材の構成に当たっては、育成する資質・能力を明確にし、その育成を図ることができるように、関連する内容の組合せを工夫したり、学習過程との関連を図ったりする必要がある。

関連する内容の組合せについては、家庭生活を総合的に捉えることができるよう、「A家族・家庭生活」から「C消費生活・環境」までの各内容項目や指導事項の相互の関連を図って題材を構成し、効果的な学習が展開できるよう配慮することが大切である。その際、児童の家庭生活の状況、生活経験の有無などにより、児童の生活に対する興味・関心、学習意欲、思考の仕方、身に付いている知識や技能などは様々であることから、内容に関する児童の実態を的確に捉え、学校、地域における行事等との関連を図るなど、より身近な題材を設定するよう配慮する。また、他教科等との関連を明確にするとともに、中学校の学習を見据え、系統的な指導ができるよう配慮する必要がある。

学習過程との関連については、内容AからCまでの各項目における指導事項のAで身に付けた「知識及び技能」を指導事項イにおいて活用し、「思考力、判断力、表現力等」を育み、家庭や地域での実践につなげることができるよう題材を構成し、効果的な指導を工夫することが大切である。例えば、基本的な教材で習得した基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用することを通して、児童が充実感や達成感を味わうことができるように教材を工夫して題材を構成することも必要である。また、家庭や地域での実践についても一連の学習過程に位置付けて題材を構成することも考えられる。

文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編」（平成29年7月）

第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画作成上の配慮事項



【補助資料3】 題材全体を通した学習の流れ

学習の流れ	題材の学習課題	選択③題材のゴール	選択①題材の導入	選択のポイント	選択②実践活動 (購入する物を選ぶ活動)	重点化できる 学習活動
例 1	生活経験や地域性に合わせて買物との関わりを想起して課題を設定し、よりよい消費生活のために自分にできることを考える。	よりよい買物をするためには、どのような点からよいのだろうか。	1 買物で気を付けていること (買物の経験) 2 買物の疑似体験 (体験活動) 3 環境と買物との関わり (既習事項との関連)	・ 地域のお店の種類や買物の経験が多い地域 ・ 地域のお店も買物の経験も少ない地域 ・ 環境に関わる学習を行っている	・ 文具 (ノート、筆箱、ペンのり等) ・ 豆腐 ・ 卵 ・ お菓子 ・ 野菜 (ねぎ、レタス、キャベツ、じゃがいも等) ・ 加工品 (ハム、ベーコン、ウインナー等) ・ 飲料 ・ Tシャツ ・ 水筒 ・ 地域の特産品 (野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等) ・ 育てたもの (米、野菜等)	○情報活用能力 ・ 情報の収集 ・ 情報の分類、整理 ・ 情報モラル ・ セキュリティ  ○言語能力 ・ 意見交流 ・ アンケート ・ インタビュー ・ 模擬体験 ・ ロールプレイング  ○インターネットでの購入  ※児童の実態に合わせて設定する
例 2	学校行事や他内容と関連させて課題を設定し、目的に合った購入の仕方について工夫する。	これからの買物に活かしたいことをまとめ、発信する。 ・ 「買い物名人〇か条」	1 修学旅行の買物 (行事との関連) 2 お世話になった人への感謝の会 (行事との関連) 3 家族が喜ぶ食事作りの材料 購入：おかず・みそ汁 (B 食生活の内容の関連) 4 袋を製作する布の購入 (B 衣生活の内容の関連)	・ 行事と関連させたい ・ 家庭科の他内容と関連させたい	※題材のストーリーラインに合わせて購入するものを決める ※回数数の決定 (1回、2回)	
例 3	地域の特産物 (食品) や学校での栽培体験の想起から課題を設定し、生産者にも目を向けながらよりよい消費生活のあり方を考える。	みんなにとってよりよい買物にするためにできることをまとめ、発信する。 ・ できることの発信 ・ 生産者さんへの手紙	1 3年生の社会の学習 (地域の特産物) 2 学校での栽培経験 (総合) (生活科)	・ 地域に特産品がある ・ 学校での栽培体験がある		

【補助資料4-1】指導計画例1（試案）

計画例1（試案）

題材名 よりよい買い物の仕方を考えよう

<p>既習事項</p> <p>【3年社会】 ・地域にみられる販売や生産の仕事</p> <p>【4年社会】 ・県内の特色ある地域の様子</p>	<p>題材で育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方と買い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理に係る技能を身に付ける。</li> <li>・身近な物の選び方や買い方についての問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</li> <li>・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。</li> </ul>	<p>家庭科の系統性</p> <p>〔6年〕 ・環境に配慮した生活</p> <p>〔中学校〕 ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費生活・環境についての課題と実践</p>
--	--	--

<p>他教科・他内容（5年生）</p> <p>〔社会〕 ・我が国の農業や水産業における食糧生産</p> <p>〔道徳〕 ・「もったいない」（環境保全と自分の関わり）</p> <p>〔他内容〕 ・内容B衣食住の生活（2）調理の基礎</p>
--

学習過程	時間	学習活動・学習内容
生活の課題発見	1	<p>○課題例 ・学習活動例</p> <p>☆選択・重点化 できる部分</p> <p><b>第1次（1時間） ☆①</b></p> <p>○今までの買い物を振り返り、学習の課題を見つけよう。 ・地域のいろいろなお店を想起する。 ・「買物で気を付けていること」を話し合い、一人ひとりの違いを知る。 ・題材を貫く課題を基に、自分の課題を設定する。</p>
解決方法の検討と計画	2	<p><b>題材の学習課題</b></p> <p>よりよい買い物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 (☆③題材のゴールの活動：「よりよい消費者宣言」をまとめる)</p>
	3	<p><b>第2次（4時間）</b></p> <p>○買い物について、もっと知ろう①。 ・自分の生活とお金の関わりについて考える。〔物や金銭の大切さ、消費生活〕 ・ロールプレイを通して、買い物の仕組みを知る。</p> <p>○買い物について、もっと知ろう②。 ・買物の経験を出し合い、身近な物の買い方をまとめる。〔手順、支払い方法〕 ・消費者の役割について話し合う。〔環境への配慮、困った時の対処〕</p>
課題解決に向けた実践活動	4	<p><b>実践活動 ☆②</b></p> <p>○よりよい買い物にするために、どのようなことを考えるとよいのだろう。(2時間の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文房具（ノート）の情報を収集、整理する。〔観点〕</li> <li>・情報を基に根拠をもって意思決定する。</li> <li>・ノートを選んだ理由を交流する。</li> <li>・物を選ぶ際の観点をまとめる。</li> </ul> <p>○（自分の今までの買い物を振り返り、よりよい買い物の仕方を考えよう。） ・自分の今までの買い物を振り返る（評価・改善する）。 ・よりよい買い物にするために、どのようにしたらよいか話し合う。</p>
	5	
実践活動の評価・改善	6	<p><b>第3次（1時間） ☆③</b></p> <p>○学習を振り返り、「よりよい消費者宣言」をまとめよう。 ・題材の学習を生かして、「よりよい消費者宣言」を作成する。 （自分の課題の解決につなげる） ・題材の学習のまとめを書く。</p>
		<p><b>児童の学び</b></p> <p>よりよい買い物をするためには、<b>収支のバランス、値段、分量、品質、本当に必要か、使いきれるか、環境への影響</b>など様々なことをよく考えて、自分に合った<b>意思決定</b>をすることが大切である。</p>

題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買い物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

### 選択・重点化できる部分

#### ☆①題材の導入

- ・買い物で気を付けていること（買物の経験）
- ・お店の違い（買物の経験）
- ・買い物の疑似体験（活動）
- ・環境と買物の関わり（既習事項との関連）

#### ☆その他：学習活動（言語能力の育成から）

- ・意見交流
- ・アンケート
- ・インタビュー
- ・模擬体験
- ・ロールプレイング 等

#### ☆その他：学習活動（情報活用能力の育成から）

- ・情報の収集
- ・情報の分類、整理
- ・情報モラル
- ・情報セキュリティ 等

#### ☆その他：インターネットでの購入

#### ☆②実践活動（購入する物を選ぶ活動）

- ・文具（ノート、筆箱、ペン、のり等）
- ・豆腐
- ・卵
- ・お菓子
- ・野菜  
（ねぎ、レタス、じゃがいも、キャベツ等）
- ・加工品（ハム、ベーコン、ウインナー等）
- ・飲料
- ・Tシャツ
- ・水筒
- ・地域の特産品  
（野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等）
- ・育てたもの（米、野菜等）

※題材に合わせて購入するものを決める  
 ※回数決定（1回、2回）

#### ☆③題材のゴールの活動

- ・「よりよい消費者宣言」
- ・「環境を守る買い物」をまとめる
- ・「買い物名人〇か条」

### 働かせる 見方・考え方

◎

持続可能な社会の構築

○

健康・安全

### 評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		①
	② 意思決定の理由	② 各時間の振り返り
	③ 評価・改善の内容	
	④ よりよい消費者宣言	③ まとめ

#### 題材構成のポイント

- ・児童の買い物経験を基にする
- ・今後の生活につなげる

#### ※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）

- ・
- ・



【補助資料4-2】指導計画例2（試案）

計画例2（試案）

題材名 買い物名人になろう

既習事項
<b>【3年社会】</b> ・地域にみられる販売や生産の仕事 <b>【4年社会】</b> ・県内の特色ある地域の様子

題材で育成する資質・能力
・買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方と買い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理に係る技能を身に付ける。 ・身近な物の選び方や買い方についての問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

家庭科の系統性
<b>〔6年〕</b> ・環境に配慮した生活 <b>〔中学校〕</b> ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費生活・環境についての課題と実践

他教科・他内容（5年生）
<b>【社会】</b> ・我が国の農業や水産業における食糧生産 <b>【道徳】</b> ・「もったいない」（環境保全と自分の関わり） <b>【他内容】</b> ・内容B衣食住の生活（2）調理の基礎

学習過程	時間	学習活動・学習内容
生活の課題発見	1	第1次（1時間） ☆① ○買い物の模擬体験をして、学習の課題を見つけよう。 ・家族がよろこぶみそ汁作り（家庭実践）にあたって、必要な準備を確認する。 ・材料（ねぎ）の模擬買物体験を行い、自分たちに必要な力について話し合う。 ・題材を貫く課題を基に、自分の課題を設定する。
	2	題材の学習課題 目的に合った買い物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 （☆③題材のゴールの活動：「買い物名人〇か条」をまとめる）
解決方法の検討と計画	3	第2次（4時間） ○買い物について、もっと知ろう①。 ・自分の生活とお金の関わりについて考える。〔物や金銭の大切さ、消費生活〕 ・ロールプレイを通して、買い物の仕組みを知る。  ○買い物について、もっと知ろう②。 ・買物の経験を出し合い、身近な物の買い方をまとめる。〔手順、支払い方法〕 ・消費者の役割について話し合う。〔環境への配慮、困った時の対処〕
	4	実践活動 ☆② ○目的に合った買い物をするために、どのようなことを考えるとよいのだろう。（2時間の課題） ・みそ汁に使う材料（豆腐）の情報を収集、整理する。〔観点〕 ・情報を基に根拠をもって意思決定する。
実践活動の評価・改善	5	○（選んだ理由を交流し、自分の選び方を見直そう。） ・豆腐を選んだ理由を交流する。 ・物を選ぶ際の観点をまとめる。 ・商品についている表示やマークについて知る。 ・自分の選び方を見直す（評価・改善する）。
	6	第3次（1時間） ☆③ ○学習をふり振り返り、「買い物名人〇か条」をまとめよう。 ・題材の学習を生かして、「買い物名人〇か条」を作成する。（自分の課題の解決につなげる） ・自分がまとめた「買い物名人〇か条」を使って、家族がよろこぶみそ汁作りにあたっての、材料の購入計画を立てる。 ・題材の学習のまとめを書く。
家庭・地域での実践		児童の学び 目的に合った買い物をするためには、 <b>収支のバランス、値段、分量、品質、本当に必要か、使いきれぬか、環境への影響</b> など様々なことをよく考えて、 <b>自分に合った意思決定をすることが大切である。</b>

題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買い物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解ししていると同時に、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

### 選択・重点化できる部分

- ★①題材の導入
- ・修学旅行の買い物（行事との関連）
  - ・お世話になった人への感謝の会（行事との関連）
  - ・家族がよろこぶみそ汁づくり（内容の関連）（おかず）
  - ・袋を製作する布の購入（内容の関連）

★その他：学習活動（言語能力の育成から）

- ・意見交流
- ・アンケート
- ・インタビュー
- ・模擬体験
- ・ロールプレイング 等

★その他：学習活動（情報活用能力の育成から）

- ・情報の収集
- ・情報の分類、整理
- ・情報モラル
- ・情報セキュリティ 等

★その他：インターネットでの購入

★②実践活動（購入する物を選ぶ活動）

- ・文具（ノート、筆箱、ペン、のり等）
- ・豆腐
- ・卵
- ・お菓子
- ・野菜（ねぎ、レタス、じゃがいも、キャベツ等）
- ・加工品（ハム、ベーコン、ウインナー等）
- ・飲料
- ・Tシャツ
- ・水筒
- ・地域の特産品（野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等）
- ・育てたもの（米、野菜等）

※題材に合わせて購入するものを決める  
 ※回数決定（1回、2回）

★③題材のゴールの活動

- ・購入計画と「買物名人〇か条」
- ・購入計画に「買物のコツ」を記入
- ・目的に合った買物の仕方を紹介（1枚もの）

### 働かせる見方・考え方



### 評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		①
③ 本時のまとめ	(②) 意思決定の理由	② 各時間の振り返り
	③ 評価・改善の内容	
	② 買い物計画 ④ 買い物〇か条	③ まとめ

#### 題材構成のポイント

- ・他内容と関連させて家庭実践につなげる
- ・購入体験を2回行う（体験を増やすため、自分事にするため）

※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）



【補助資料4-3】指導計画例3（試案）

計画例3（試案）

題材名 みんなでつくろう よりよい消費生活

既習事項
<b>【3年社会】</b> ・地域にみられる販売や生産の仕事 <b>【4年社会】</b> ・県内の特色ある地域の様子

題材で育成する資質・能力
・買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方と買い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理に係る技能を身に付ける。 ・身近な物の選び方や買い方についての問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

家庭科の系統性
<b>【6年】</b> ・環境に配慮した生活 <b>【中学校】</b> ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費生活・環境についての課題と実践

他教科・他内容（5年生）
<b>【社会】</b> ・我が国の農業や水産業における食糧生産 <b>【道徳】</b> ・「もったいない」（環境保全と自分の関わり） <b>【他内容】</b> ・内容B衣食住の生活（2）調理の基礎

学習過程	時間	学習活動・学習内容
生活の課題発見	1	第1次（1時間） ☆① ○買い物の模擬体験をして、学習の課題を見つけよう。 ・3年生の社会で学習した地域のりんご農家の様子を想起する。 ・りんごの模擬買物体験を行い、いろいろな選び方をしていることを知る。 ・題材を貫く課題を基に、自分の課題を設定する。
	2	題材の学習課題 みんなにとってよりよい買い物にするためには、どのようにしたらよいのだろう。（☆③題材のゴールの活動：おうちの人へ発信）
解決方法の検討と計画	3	第2次（4時間） ○買い物について、もっと知ろう①。 ・自分の生活とお金の関わりについて考える。〔物や金銭の大切さ、消費生活〕 ・ロールプレイを通して、買い物の仕組みを知る。  ○買い物について、もっと知ろう②。 ・買物の経験を出し合い、身近な物の買い方をまとめる。〔手順、支払い方法〕 ・消費者の役割について話し合う。〔環境への配慮、困った時の対処〕
	4	実践活動 ☆② ○地産地消には、どのようなよさがあるのだろうか。 ・地産地消について調べる。 ・調べたことを交流する。 ・商品についている表示やマークについて知る。 ・課題に対する自分の考えをまとめる。 ・（フェアトレード商品を紹介する）
課題解決に向けた実践活動	5	○みんなにとってよりよい買い物するために、どのようなことを考えるとよいのだろうか。 ・ハムの情報を収集、整理する。〔観点〕 ・情報を基に根拠をもって意思決定する。 ・ハムを選んだ理由を交流する。 ・物を選ぶ際の観点をまとめる。 ・自分の選び方を見直す（評価・改善する）。
	6	第3次（1時間） ☆③ ○学習をふり返り、みんなにとってよりよい買い物するためにできることを発信しよう。 ・題材の学習を生かして、みんなにとってよりよい買い物するためにできることをスライド2～4枚にまとめる。（自分の課題の解決につなげる） ・まとめたものを交流する。 ・題材の学習のまとめを書く。
実践活動の評価・改善		児童の学び みんなにとってよりよい買い物にするためには、生産する人のこと、環境を守ること、値段、分量、品質、本当に必要か、使いきれるかなど様々なことをよく考えて、自分に合った意思決定をすることが大切である。



題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買い物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解するとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

### 選択・重点化できる部分

#### ☆①題材の導入

- ・3年生の社会の学習（地域の特産物）
- ・学校での栽培体験（他教科との関連）

#### ☆その他：学習活動（言語能力の育成から）

- ・意見交流
- ・アンケート
- ・インタビュー
- ・模擬体験
- ・ロールプレイング 等

#### ☆その他：学習活動（情報活用能力の育成から）

- ・情報の収集
- ・情報の分類、整理
- ・情報モラル
- ・情報セキュリティ 等

#### ☆その他：インターネットでの購入

#### ☆②実践活動（購入する物を選ぶ活動）

- ・文具（ノート、筆箱、ペン、のり等）
- ・豆腐
- ・卵
- ・お菓子
- ・野菜（ねぎ、レタス、じゃがいも、キャベツ等）
- ・加工品（ハム、ベーコン、ウインナー等）
- ・飲料
- ・Tシャツ
- ・水筒
- ・地域の特産品（野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等）
- ・育てたもの（米、野菜等）

※題材に合わせて購入するものを決める  
 ※回数決定（1回、2回）

#### ☆③題材のゴールの活動

- ・できることをまとめて発信する。
- ・地域の生産者さんへ手紙を書く。

### 主に働かせる見方・考え方

◎ 持続可能な社会の構築

○ 健康・安全

○ 家族や地域の人々との協力

### 評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		①
		② 各時間の振り返り
③ 本時のまとめ	② 買い物計画 ③ 評価・改善の内容	
	④ できること	③ まとめ

#### 題材構成のポイント

- ・生産者へ目を向け、地産地消やエシカル消費の内容を取り入れる。
- ・購入体験を2回行う（体験を増やすため、自分事にするため）。

※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）

## 【補助資料5】家庭科の学習に関わる事前アンケート（児童）

### 家庭科の学習に関わるアンケート

番号 名前（ ）

このアンケートは、岩手県の総合教育センターで行われている、じゅ業をよりよくするための研究に役立てるために行われるものです。

これは、家庭科の学習に関わるアンケートです。みなさんの買い物の経験について、教えてください。また、名前を書くようになっていますが、あなたがどんな答えを書いても、成せきに関係したり、他の人に知られたりすることはありません。安心して教えてください。

#### 答え方

- ・あてはまる場所を選たくします。
- ・まよった時や分からない時は、大体の答えやなるべく近い答えを選んでください。
- ・「ふく数回答可」のものは、あてはまる答えをすべて選んでください。（1つでもよいです）

①おうちの人と買い物に行ったことはありますか。

ない

ある → ②どのくらいのひん度で行きますか。

半年に1回くらい

月1回くらい

週1回くらい

もっと多く

→ ③どのようなお店に買い物に行きますか。（ふく数回答可）

食料品や衣料品など、たくさんのお店が集まっているお店

電気店、スポーツ用品店、本屋など1つの物を中心に扱う大きなお店

ドラッグストア

食料品を中心にあつかうスーパー

コンビニエンスストア

地いきの小さなお店

その他

→ ④おうちの人と買い物に行った際、自分で買う物を選んだ経験はありますか。（おうちの人と相談しながらでもよいです）

ない

ある → 何を選びましたか。（ふく数回答可）

食べ物（お菓子など）

食べ物（野菜や魚、肉など）

飲み物

おもちゃ

ゲーム

本（マンガ）

洋服

くつ

文ぼう具

その他

⑤今までに一人で（または子どもだけで）買い物をした経験はありますか。

ない

ある → ⑥何回くらいありますか。

10回以上

5～9回くらい

2～4回くらい

1回

→ ⑦何を買いましたか。（ふく数回答可）

食べ物（お菓子など）

食べ物（野菜や魚、肉など）

飲み物

おもちゃ

ゲーム

本（マンガ）

洋服

くつ

文ぼう具

その他

⑧自分で自由に使えるお金はありますか。

ない

ある → ⑨どのようにして得たお金ですか。（ふく数回答可）

お年玉

定期的なおこづかい

欲しいときにもらうおこづかい

手伝いをしてもらうおこづかい

その他

⑩買い物でこまったり、失敗したりした経験はありますか。

ない

ある → ⑪その時、どうしましたか。（ふく数回答可）

おうちの人に相談した

自分でかい決した

何もしなかった

その他

⑫おうちの人買い物でこまったり、失敗したりした話を聞いたことはありますか。

ない

ある



⑬今、ほしい物がありますか。

ない

ある → ⑭それは何ですか。(ふく数回答可)

食べ物 (お菓子など)

飲み物

おもちゃ

ゲーム

本 (マンガ)

洋服

くつ

文ぼう具

その他

⑮無人はん売所で買い物をした経験はありますか。(おうちの人といっしょでもよいです)

ない

ある

⑯おうちの方は、インターネットを使って買い物をしていますか。

よくしている

時々している

見たことはあるが多くない

見たことがない

⑰インターネットを使って自分で選んで買い物をした経験はありますか。(おうちの人と相談しながらでもよいです)

ない

ある → ⑱何を買いましたか。(ふく数回答可)

食べ物 (お菓子など)

飲み物

おもちゃ

ゲーム

本 (マンガ)

洋服

くつ

文ぼう具

その他

⑱ゲームや音楽、マンガなど、インターネット上で課金（料金を支払うこと）をした経験はありますか。

ない

ある → ⑳それは何ですか。（ふく数回答可）

ゲーム

音楽

マンガ

うらない

投げせん

その他

㉑バスカードや図書カードをはじめとするプリペイドカード（お金の支払いができるカード）を使った経験はありますか。

ない

ある → ㉒それは何のカードでしたか。（ふく数回答可）

バスカード

図書カード

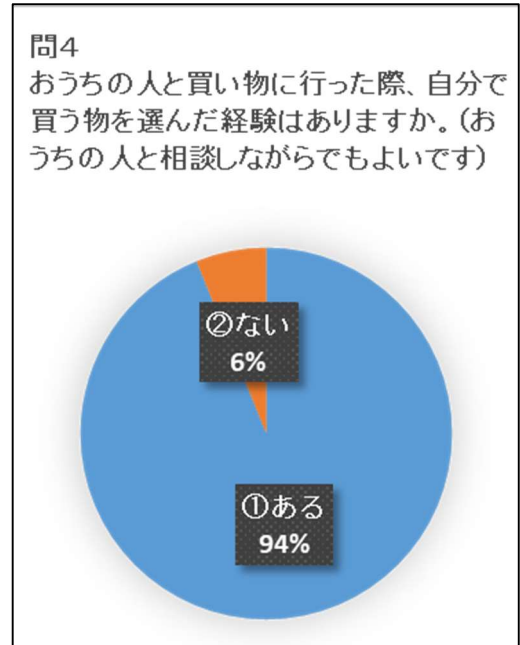
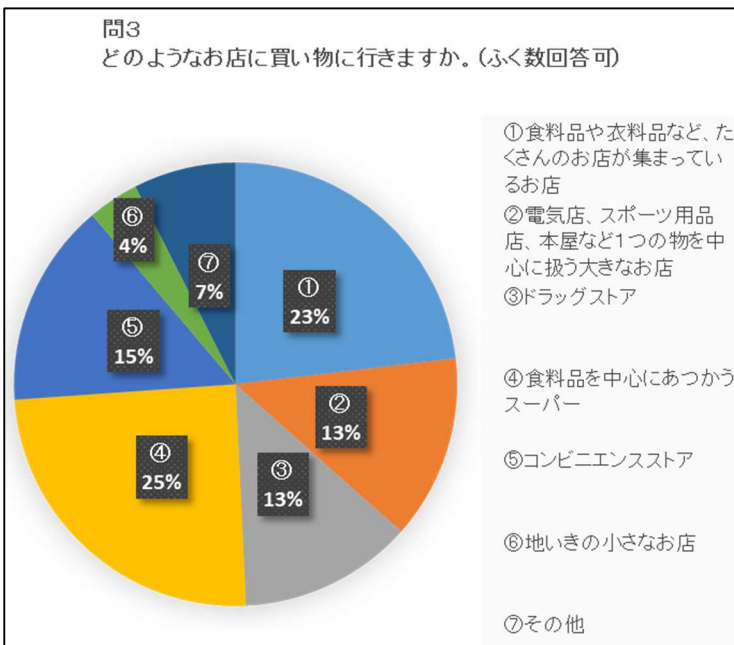
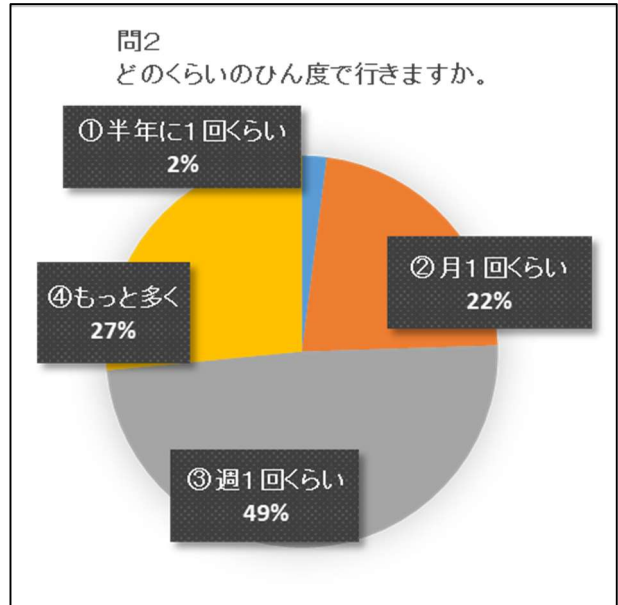
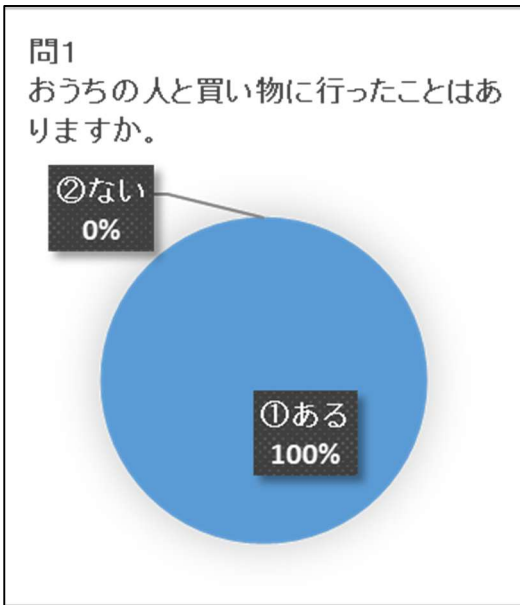
その他（クオカード、ニンテンドーカード、グーグルプレイカード、プレイステーションストアカード、アマゾンカード、ナナコカード、ワオンカード、楽天エディカード、ワイカカードなど何でも）

ご協力ありがとうございました。

【補助資料6】家庭科の学習に関わる事前アンケート（児童）の結果

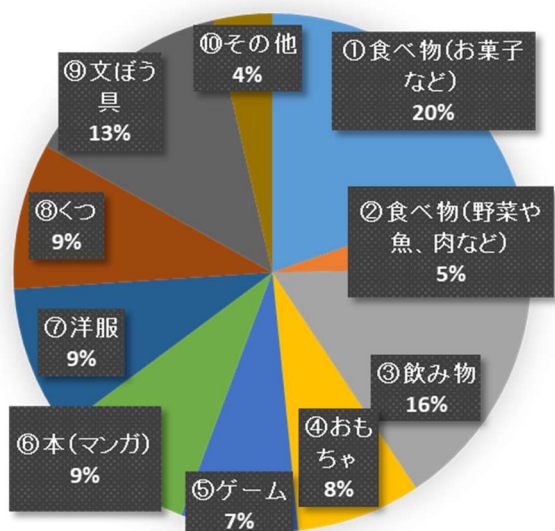
実施：令和5年9月

対象：花巻市立宮野目小学校 5年生児童 49名

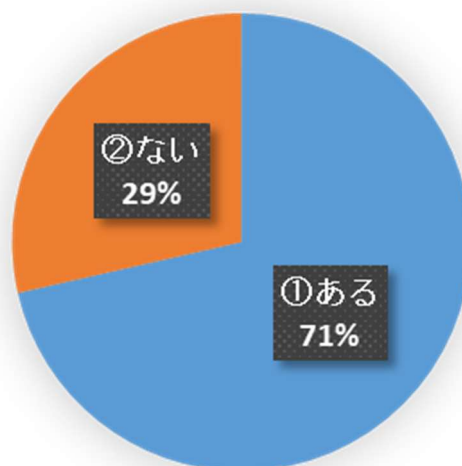




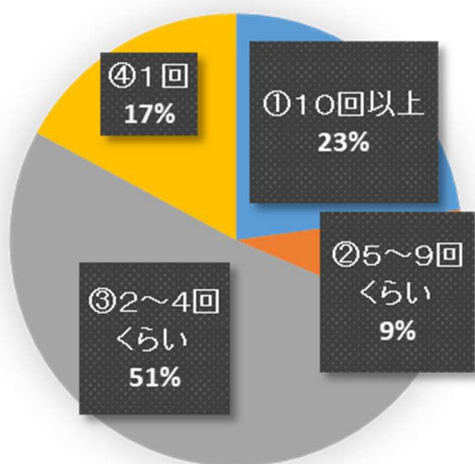
問5  
何を選びましたか。(ふく数回答可)



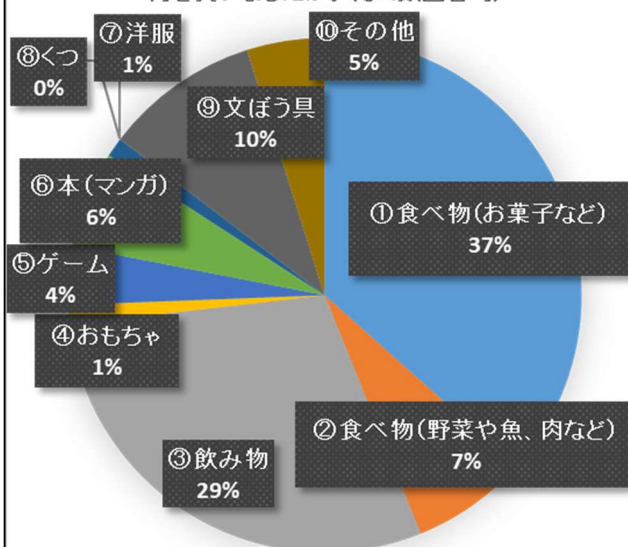
問6  
今までに一人で(または子どもだけで)買い物をした経験はありますか。



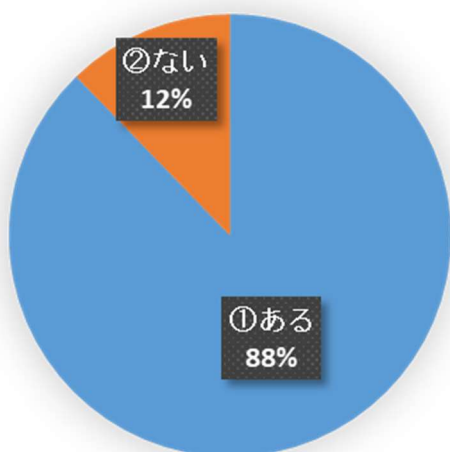
問7  
何回くらいありますか。



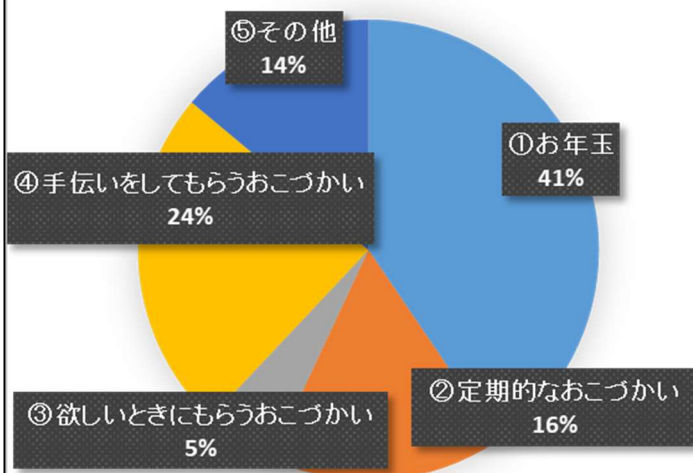
問8  
何を買いましたか。(ふく数回答可)



問9  
自分で自由に使えるお金はありますか。

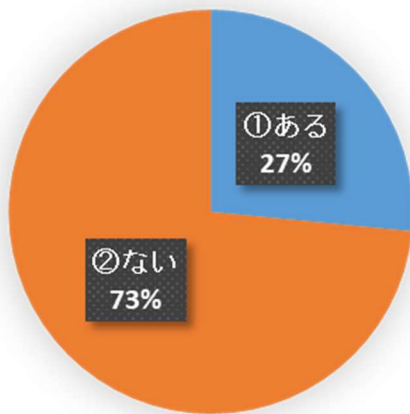


問10  
どのようにして得たお金ですか。(ふく数回答可)



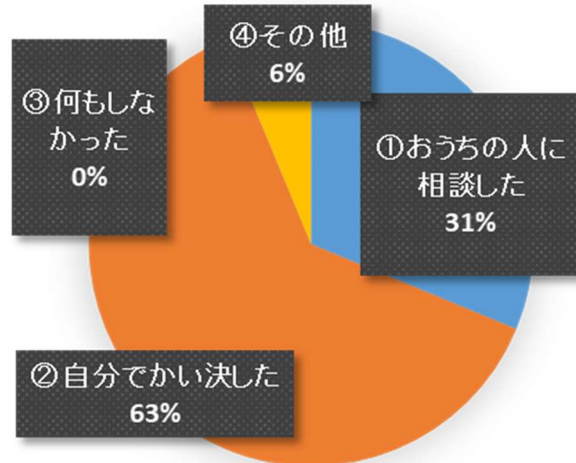
問11

買い物でこまったり、失敗したりした経験はありますか。



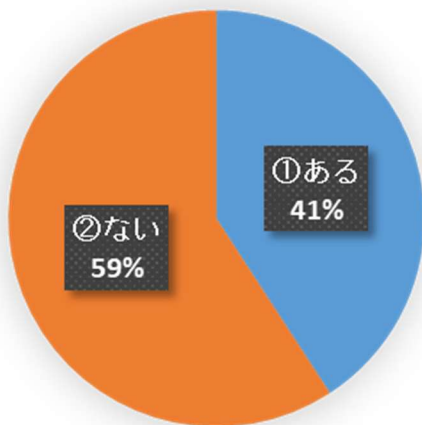
問12

その時、どうしましたか。(ふく数回答可)



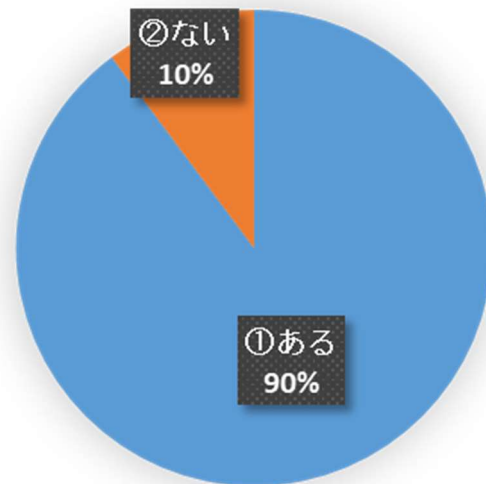
問13

おうちの人が買い物でこまったり、失敗したりした話を聞いたことはありますか。



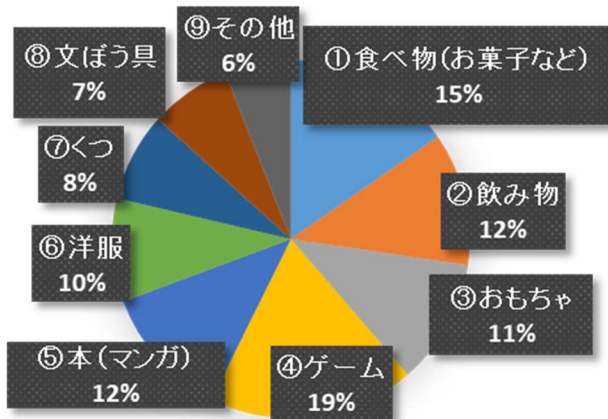
問14

今、ほしい物がありますか。



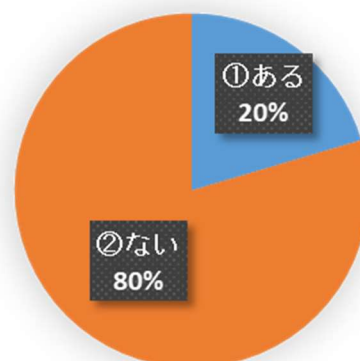
問15

それは何ですか。(ふく数回答可)



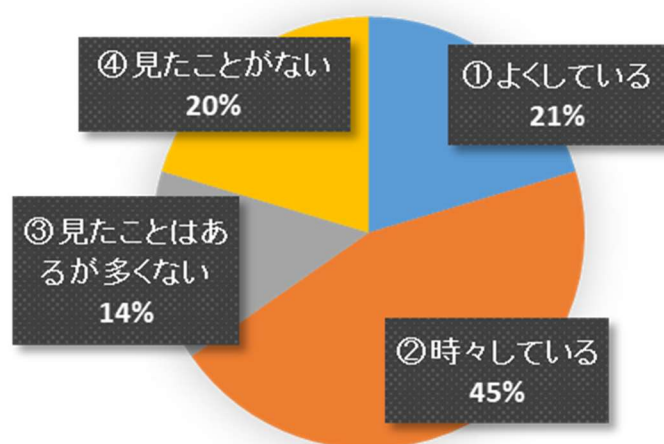
問16

無人はん売所で買い物をした経験はありますか。(おうちの人といっしょでもよいです)

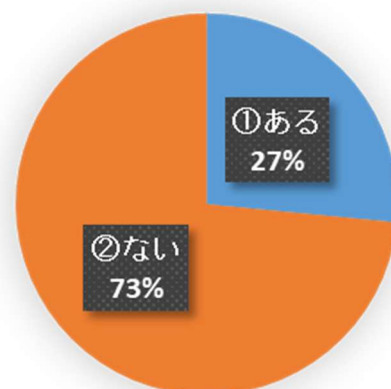


**問17**

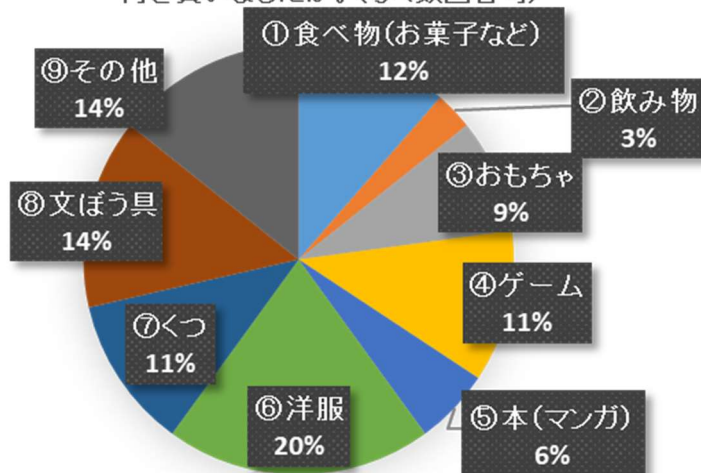
おうちの人、インターネットを使って買い物をしていますか。

**問18**

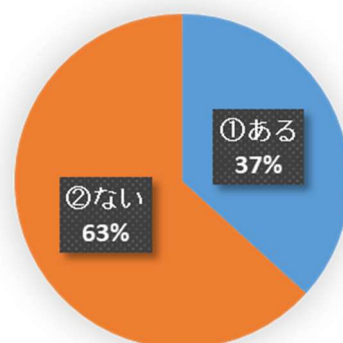
インターネットを使って自分で選んで買い物をした経験はありますか。(おうちの人と相談しながらでもよいです)

**問19**

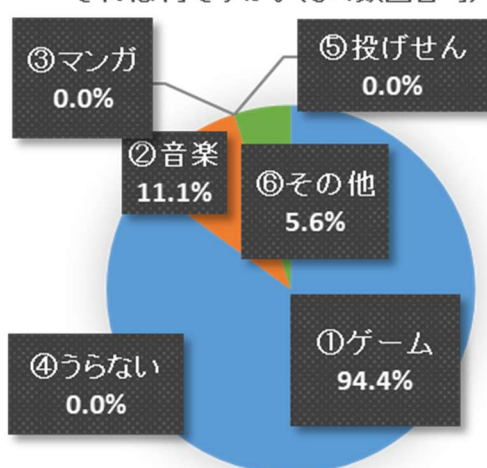
何を買いましたか。(ふく数回答可)

**問20**

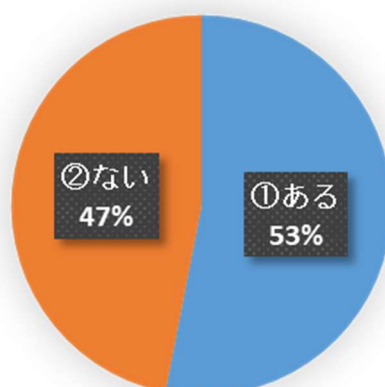
ゲームや音楽、マンガなど、インターネット上で課金(料金を支払うこと)をした経験はありますか。

**問21**

それは何ですか。(ふく数回答可)

**問22**

バスカードや図書カードをはじめとするプリペイドカード(お金の支払いができるカード)を使った経験はありますか。

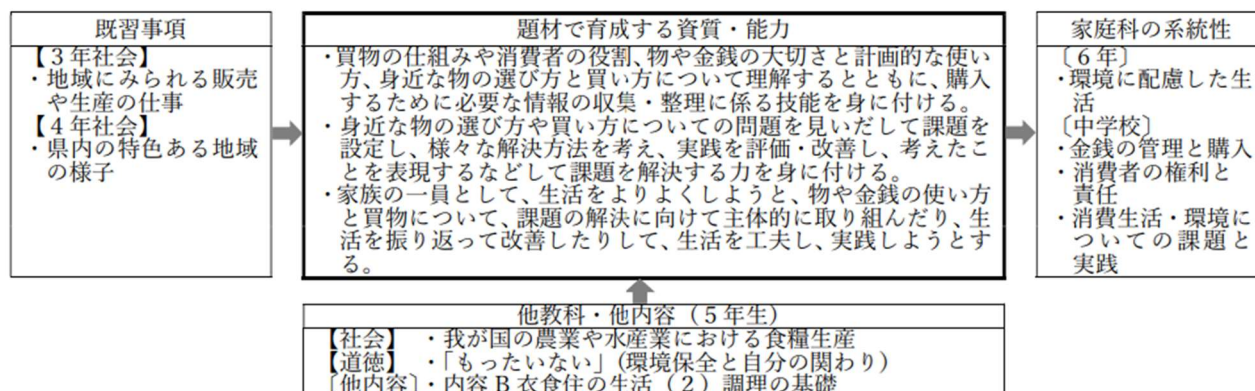




【補助資料7】宮野目小学校版の指導計画

指導計画（宮野目小学校：5学年）

題材名 よりよい買い物の仕方を考えよう



学習過程	時間	学習活動・学習内容
生活の課題発見	1	<p><b>第1次（1時間） ☆①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これからの学習の課題を見つけよう。</li> <li>・地域のいろいろなお店を想起し、「買物で気を付けていること」を出し合う。</li> <li>・購入する物を選ぶ活動（米）を行い、自分たちに必要な力について話し合う。</li> <li>・題材を貫く課題を基に、自分の課題を設定する。</li> </ul>
	<p><b>題材の学習課題</b></p> <p>よりよい買い物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 （☆③題材のゴールの活動：「よりよい消費者宣言」をまとめる）</p>	
解決方法の検討と計画	2	<p><b>第2次（4時間）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○買物について、もっと知ろう①。</li> <li>・自分の生活とお金の関わりについて考える。〔物や金銭の大切さ、消費生活〕</li> <li>・買物の仕組みを知る。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○買物について、もっと知ろう②。</li> <li>・買物の経験を出し合い、身近な物の買い方をまとめる。〔手順、支払い方法〕</li> <li>・消費者の役割について話し合う。〔環境への配慮、困った時の対処〕</li> </ul>
課題解決に向けた実践活動と実践活動の評価・改善	4	<p><b>実践活動 ☆②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○よりよい買い物をするために、どのようなことを考えるとよいのだろう。（2時間の課題）</li> <li>・文房具（ノート）の情報を収集、整理する。〔観点〕</li> <li>・情報を基に根拠をもって意思決定する。</li> <li>・文房具（ノート）を選んだ理由を交流する。</li> <li>・物を選ぶ際の観点をまとめる。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○（自分のこれまでの買い物を振り返り、よりよい買い物の仕方を考えよう。）</li> <li>・前時の活動や自分のこれまでの買物を振り返る（評価・改善する）。</li> <li>・よりよい買い物するために、どのようにしたらよいか話し合う。</li> </ul>
	6	<p><b>第3次（1時間） ☆③</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習をふり振り返り、「よりよい消費者宣言」をまとめよう。</li> <li>・題材の学習を生かして、「よりよい消費者宣言」を作成する。（自分の課題の解決につなげる）</li> <li>・題材の学習のまとめを書く。</li> </ul>
		<p><b>児童の学び</b></p> <p>よりよい買い物をするためには、収支のバランス、使いきれるか、環境への影響、本当に必要かなどをよく考えたり、値段、分量、品質などを比べたりして、自分に合った意思決定をすることが大切である。</p>

題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買い物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解するとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①物や金銭の使い方と買物について問題を見い出して課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

### 選択・重点化できる部分

#### ☆①題材の導入

- ・買い物で気を付けていること（買物の経験）
- ・購入する物を選ぶ活動（体験）
- ・環境と買物の関わり（既習事項との関連）

#### ☆その他：学習活動（言語能力の育成から）

- ・意見交流
- ・アンケート
- ・インタビュー
- ・模擬体験
- ・表現
- ・ロールプレイング 等

#### ☆その他：学習活動（情報活用能力の育成から）

- ・情報の収集
- ・情報の分類、整理
- ・情報モラル
- ・情報セキュリティ 等

#### ☆その他：インターネットでの購入

#### ☆②実践活動（購入する物を選ぶ活動）

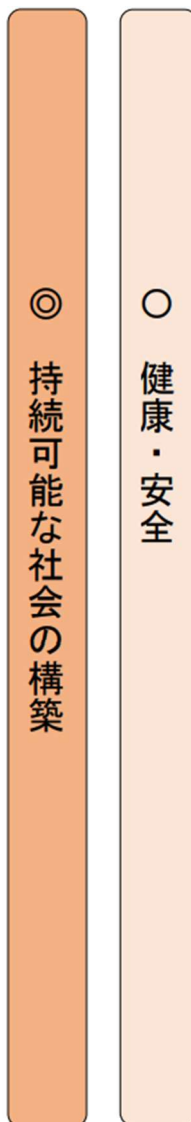
- ・文具（ノート、筆箱、ペン、のり等）
- ・豆腐
- ・卵
- ・お菓子
- ・野菜（ねぎ、レタス、じゃがいも、キャベツ等）
- ・加工品（ハム、ベーコン、ウインナー等）
- ・飲料
- ・Tシャツ
- ・水筒
- ・地域の特産品（野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等）
- ・育てたもの（米、野菜等）

※題材に合わせて購入するものを決める  
 ※回数決定（1回、2回）

#### ☆③題材のゴールの活動

- ・「よりよい消費者宣言」
- ・「環境を守る買い物」をまとめる
- ・「買い物名人〇か条」

### 働かせる 見方・考え方



### 評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		①
	② 意思決定の理由	② 各時間の振り返り
	③ 評価・改善の内容	
	④ よりよい消費者宣言	③ まとめ

#### 題材構成のポイント

- ・購入する物を選ぶ活動を2回設定する
- ・今後の生活につなげる

#### ※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）

- ・導入の際、総合で育てている米を扱う
- ・支払い方法の学習に課金の注意点を入れる



【補助資料 8 - 1】各時間の指導略案（第 1 時）

第 1 時の指導

(1) 目標

購入する物を選ぶ活動と今までの買物を振り返る活動を通して、今までの買物で足りなかったことやこれから身に付けたいことを見だし、自分の課題を設定することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入 10分	1 地域のいろいろなお店を想起し、「買物で気を付けていること」を出し合う。  2 本時の課題を設定する。	・「買物で気を付けていること」を出し合い、「お金を使って物を購入していること」と「いろいろなことを考えて買物をしていること」を確認する。	・いろいろなお店の写真
	【学習課題】 買う物（購入する物）を選ぶ活動をして、これからの学習の課題を見つけよう。		
展開 30分	3 課題を解決する。 (1) 購入する物を選ぶ活動をする。  (2) 自分たちに必要な力について話し合う。  (3) 題材の学習課題を設定し、それを基に自分の課題を設定する。	・ 3種類の米から購入する米を選び、選んだ理由を確認することで、選ぶ理由は人それぞれであることを実感できるようにする。  ・ 買物をするのに自分たちに必要な力を話し合うことで、「よりよい買物」という視点に気付くようにする。 ・ 「消費」「消費者」という言葉を確認する。  ・ 話し合ったことから、学級全体の題材の学習課題を設定する。	・ 3種類の米 考えの一覧表示 (ロイロノート)
	【題材の学習課題】 よりよい買い物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。		
		・ 「今までの自分の買い物」と「この学習を通して学びたいこと」の2点を記述することで、自分の課題を設定できるようにする。 ◇物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 (ワークシートの記述) [思・判・表]	・ ワークシート
終末 5分	4 題材の学習の見通しをもつ。  5 本時の学習を振り返る。	・ 題材の学習課題を解決するために、次時からの学習では、何を、どんな順で学ぶか、児童とやり取りをしながら見通しをもつようにする。  ・ 自分の生活を見つめて課題を設定できたか振り返るようにする。	・ ワークシート



【補助資料 8 - 2】各時間の指導略案（第 2 時）

第 2 時の指導

(1) 目標

お金の流れを可視化する活動と売買契約の成立について考える活動を通して、買物の仕組みと物や金銭の大切さについて理解することができる。(知識及び技能)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入 3分	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。  2 本時の課題を設定する。  【学習課題】 買い物について、もっと知ろう①。	・前時に見通した学習計画から、題材の課題を解決するために学ぶ時間であることを確認する。	
展開 35分	3 課題を解決する。 (1) 家庭を中心としたお金の流れを考える。 ①お金の流れを図に表す。 ②お金の流れについて、班で共有する。 ③「収入と支出のバランスが崩れた場合」の家庭について考えてみる。  (2) 買物の仕組みを理解する。 ①商品が決まった後の購入場面を確認しながら、どこで買物が成立するか考える。 ②売買契約について知る。 ③他の買物場面での売買契約の成立を確認する。	・家の絵にお金の流れを書き込みながら、「収入」と「支出」があることを確認できるようにする。 ・電気やガス、習い事の費用等、見えにくい支出を取り上げ、買物だけでない支出もあることに気付くようにする。 ・「収入と支出のバランス」という視点を与え、バランスが崩れた場合を想像することで、物や金銭の大切さについて考える機会をもつ。  ・買物の仕組みに関わる商品の購入場面を 4 つの場面に分け、どの場面で買物が成立するか話し合う。 ・「売買契約」について確認し、改めてどの場面で契約が成立するか確認する。 ・出前の注文、インターネットの購入、自動販売機等、他の買物場面での契約の成立を確認し、「合意」によって成立することについて理解を深めるようにする。	・家の絵 (ロイロノート)  ・4 つの場面の表示 他の買物場面の絵 (ロイロノート)
終末 7分	4 本時の学習を振り返る。 ・分かったこと 分かったことについての感想	・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。 ・本時の学習内容 (収入と支出・買物の仕組み) について、それぞれ分かったことを書くようにする。 ・感想については、題材のゴールの活動で見直して使えることを伝え、今考えていることを記録しておくように伝える。 ◇買物の仕組みが分かり、物や金銭の大切さについて理解している。 (ワークシートの記述) [知・技]	・ワークシート

【補助資料 8-3】各時間の指導略案（第3時）

第3時の指導

(1) 目標

買物の経験を基にしながら話し合う活動を通して、身近な物の買い方（手順・支払い方法）や消費者の役割について理解することができる。（知識及び技能）

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）	資料（教材教具）等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 2 本時の課題を設定する。	・題材の学習計画から、課題を解決するために学ぶ時間であることを確認する。	
3分	【学習課題】 買い物について、もっと知ろう②。		
展開	3 課題を解決する。 (1) 物の買い方（手順）を考える。 ①買物で失敗した経験を出し合う。 ②買物の際に考えることややることを確認する。 ③物の買い方（手順）をまとめる。  (2) 支払い方法について理解する。 ①いろいろな支払方法について知る。 ②注意することを考える。  (3) 消費者にはどのような役割があるか話し合う。	・自分や家族が買物で失敗した経験を出し合い、その内容を基にしながら、買物の際に考えることややることを具体的に理解できるようにする。 ・失敗した経験があまり出ない場合には、用意した事例を紹介して考えられるようにする。 ・手順をまとめることで、買物に行く前や買った後も大切であることに気付くようにする。  ・支払い方法として、現金の他に、「プリペイドカード」「商品券」「チャージ型プリペイドカード」「クレジットカード」「スマホ決済」について扱うようにする。 ・注意することを考えることで、それぞれの特徴に合わせた使い方について理解を深めるようにする。 ・インターネットで「課金」をしている児童が一定数いるというアンケート結果から、課金の大きな仕組みや注意することについて確認する。  ・前時や本時に学習した内容を確認するとともに、「持続可能な社会をめざす」という視点を示して、消費者の役割について考えを出し合うようにする。 ・「環境への配慮」「困ったことが起こったとき」についても触れるようにする。	・班ごとの共有ノート（ロイロノート）  ・支払い方法の掲示 ・ワークシート
35分			
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・自分が大切だと考える消費者の役割とそのように考えた理由	・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。 ・記述した内容を題材のゴールの活動で見直して使うことを伝え、具体的に書くように促す。	・ワークシート
7分	消費者の役割として、いろいろな支払い方法のよさと注意点を分かって買うことや本当に必要か考えてから買うことでむだなものを買わないようにすることが大切だと思いました。自分にも環境にもよい買い物を、みんなができるといいと思うからです。	◇消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 (ワークシートの記述) [知・技]	



【補助資料 8-4】各時間の指導略案（第4時）

第4時の指導

(1) 目標

購入する物についての情報を収集、整理したり、選んだ理由について話し合ったりする活動を通して、身近な物（ノート）の選び方や買い方について買物の計画を考え、工夫することができる。

（思考力、判断力、表現力等）

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）	資料（教材教具）等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の学習計画から、考え、工夫して実践する時間として、ノートを選ぶ活動を確認する。</li> </ul>	
3分	2 本時の課題を設定する。  【学習課題】 よりよい買い物にするために、どのようなことを考えるとよいのだろう。		
展開	3 課題を解決する。 (1) ノートの情報を収集、整理する。 ①状況の設定を確認する。 ②前時にまとめた手順から、実際に購入する物を選ぶ場面であることを確認する。 ③自分で情報を収集、整理する。 ④整理した情報について、班で共有する。  (2) 情報を基に購入するノートを選ぶ。  (3) ノートを選んだ理由を交流する。 ①理由の交流をする。 ②自分の決定を見直す。	<p>〔状況の設定〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人勉強ノートがなくなりそうである</li> <li>・持っているお金は1000円（残ったお金はおうちの人に返す）</li> <li>・ノートがなくなった時は、自分で買いに行くことになっている</li> <li>・10mm方眼のノートは、算数・社会・理科・一人勉強で使っている</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5種類のノートの情報について、ワークシートに整理することで、情報の一部を確認するのではなく、同じ観点で比べることが必要であることに気付くようにする。</li> <li>・選んだ理由を具体的に書くように指示することで、根拠をもって意思決定できるようにする。</li> <li>・選んだものとその理由を交流する際に、どのような情報を基にしているか確認することで、「同じ情報をもっているも、選び方は人それぞれであること」を実感できるようにする。</li> <li>・最後に、自分の決定を見直し、最終決定できるようにする。</li> </ul> <p>◇身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 (ワークシートの記述) [思・判・表]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5種類のノート（ロイロノート）</li> <li>・ワークシート</li> <li>・考えの一覧表示（ロイロノート）</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
37分			
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・購入するノートをよりよく選ぶために、どのように工夫することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。</li> <li>・考えたり、工夫したりした内容について、具体的に書くように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul>
5分	<p>ノートを選ぶときに、このあと算数のノートもなくなりそうだけど、その時また買いに行くのは大変なので、これから使いそうなノートの数を考えて選ぶことを工夫しました。5冊セットの方が1冊20円くらいお得なので、金額を比べるのも工夫しました。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は、本時の学習から買物の観点をまとめたり、自分の買物を振り返ったりしながら、よりよい買物の仕方についてまとめることを確認する。</li> </ul>



【補助資料 8－5】各時間の指導略案（第5時）

第5時の指導

(1) 目標

前時に購入する物を選んだ活動や自分の今までの買物を振り返る活動を通して、身近な物の選び方、買い方について評価したり、改善策を考えたりすることができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 2 本時の課題を設定する。	・前時に選んだ物とその理由を確認することで、前時の学習を振り返るようにする。	
3分	【学習課題】 自分の買い物をふり返り、よりよい買い物の仕方を考えよう。		
展開	3 課題を解決する。 (1) 購入する物を選ぶ際の観点をまとめる。 ①前時に選んだ物 (ノート) の観点 ②それ以外の物を選ぶ観点  (2) 前時の活動や自分の今までの買物を振り返る。 ①前時の買物を振り返る。 ②今までの買物を振り返る。  (3) よりよい買物にするために、どのようにしたらよいか話し合う。 ①(2)を基にして考える。 ②考えたことを交流する。	・「値段」「分量」「品質」「環境への配慮」を中心として、児童の考えを整理する。特に「品質」については、使いやすさ(書きやすい・軽い)や丈夫さなど、具体的に整理する。 ・ノートでは確認できない観点について、野菜(産地)、ハム(表示やマーク)を例に取り上げ、考えるようにする。 ・表示やマークについて、教科書の「商品についている表示やマーク」を確認する。  ・①については、選び方を中心に、②については、買物の手順に沿って、買う前や買った後のことも含めて振り返ることができるように視点を示す。  ・交流の中の際には、「なぜそう考えたのか」を問うことで、行動だけでなく、その影響についても捉えることができるようにし、生活と結び付けるようにする。  ◇身近な物の選び方、買い方について、評価したり、改善したりしている。 (2)と(3)のワークシートの記述 [思・判・表]	・前時の資料とワークシート ・ワークシート  ・教科書の「商品についている表示やマーク」  ・ワークシート  ・考えの一覧表示(ロイロノート) ・ワークシート
37分			
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・自分の買物の振り返りとよりよい買物の仕方を考える活動に、どのように取り組んだか。	・本時に学習した内容を全体で振り返って確認する。 ・学習活動をするときに気を付けたことや頑張ったことを、具体的に書くように促す。	・ワークシート
5分	自分の買い物を振り返る活動では、今まで買った物を思い出して、それがその後どうなっているかを考えるようにしました。考えてみたら、買った後にあまり使っていない物があったので、買い物の仕方、買った後のことを考えることを入れました。		
		・次時は、題材のまとめの時間であることを確認する。	

【補助資料 8－6】各時間の指導略案（第6時）

第6時の指導

(1) 目標

今までに学習してきたことを使って「よりよい消費者宣言」をまとめる活動を通して、物や金銭の使い方と買物についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (◇評価)	資料 (教材教具) 等
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 2 本時の課題を設定する。	・前時に考えた「よりよい買い物の仕方」を確認することで、前時の学習を振り返るようにする。	
3分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】 題材で学習したことをふり返り、「よりよい消費者せん言」をまとめよう。</p> </div>		
展開	3 課題を解決する。 (1) 各自で「よりよい消費者宣言」をまとめる。  (2) 題材の学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に考えた「よりよい買物の仕方」やこれまでの学習のワークシートを見ながら、学んだことを活かしてまとめることを確認する。</li> <li>・それぞれの児童にとっての「よりよい消費者宣言」となるよう、第1時に考えた自分の課題を解決する内容を1つは入れることを確認する。(宣言の数は自由)</li> <li>・宣言の内容については、その宣言をする理由を併せて記入するように指示する。</li> </ul> <p>◇物や金銭の使い方と買物についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 (「よりよい消費者宣言」) [思・判・表]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この題材の学習で学んだこと」と「これからの消費生活 (買物) で実践したいこと」についてまとめる際には、第1時のワークシートを確認しながら記入するように伝え、自分の学習の成果を実感できるようにする。</li> </ul> <p>◇物や金銭の使い方について工夫し、実践しようとしている。 (ワークシート) [主体]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習のワークシート</li> <li>・第1時のワークシート</li> </ul>
終末5分	4 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が発表した題材のまとめを取り上げ、題材の学習を通して学んだことやできるようになったことを価値付けるようにする。</li> <li>・これからも続く消費生活の中で、一人一人の実践がよりよい消費生活につながることを伝える。</li> </ul>	

【補助資料9】「C消費生活・環境」の指導事項

※本研究の指導は（1）が中心

○ねらい

課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて身近な消費生活と環境を考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付けるとともに、それらの課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成すること。

内容	具体的内容の項目	具体的な内容
(1) 物や金銭の使い方と買物		
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 買物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。 (イ) 身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること。	買い物の仕組み	・現金による店頭での買物 ・売買契約の成立 ・義務（支払い、商品を渡す） ・返品について
	消費者の役割	・必要性、最後まで活用、環境への影響 ・困った時の対応
	物や金銭の大切さ	・家計の収入（働くことによって得られる） ・家庭の収入を有効に使うことの重要性 ・プリペイドカード
	金銭の計画的な使い方	・物や金銭を生かして使う必要性や方法 ・物の計画的な使い方（長く使う方法） ・小遣いなどの無駄のない使い方（購入の時期、金額、貯蓄）
	身近な物の選び方	・選ぶ際の観点（値段、分量、品質など） ・簡単な表示やマーク ・環境への配慮、資源の有効利用
	身近な物買い方	・現金による店頭での買物を中心 ・予算、購入時期、場所、必要量、まとめ買い ・メモ、買物の記録の大切さ ・通信販売 ※実態に応じて
イ 購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫すること。	購入するために必要な情報の収集・整理	・話を聞く、広告 ・様々な視点から情報を整理
	身近な物の選び方、買い方	・身近な物について問題を見いだす ・選び方（必要な情報を調べる、話を聞く、様々な観点） ・買い方（購入時期や場所など検討） ・振り返り（必要性、購入後の活用、環境）
(2) 環境に配慮した生活		
ア 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解すること。	自分の生活と身近な環境との関わり	・多くの物を使っている ・自分の生活と身近な環境との関わり（双方向）
	環境に配慮した物の使い方	・環境に負荷をかけない（長く、無駄なく、再利用など）
イ 環境に配慮した生活について物の使い方などを考え、工夫すること。	環境に配慮した生活	・物の使い方について問題を見いだす ・環境に配慮した生活のための工夫 ・振り返り（できた・できなかったこと、考えたことなど）

○その他

- ※小中の系統性を図り、自立した消費者を育成するため、消費者教育に関する内容の一層の充実を図っている
- ・主体的に生活を工夫できる消費者としての素地を育てる
- ・「買い物の仕組みや消費者の役割」を新設
  - 中学校の「売買契約の仕組み」「消費者の基本的な権利と責任」「消費者被害の背景とその対応」へ
- ・生活の営みに係る見方・考え方の視点：主に「持続可能な社会の構築」
- ・内容の関連を図り、生活と結び付けて考え、実践的に学習できるように配慮
  - 「A 家族・家庭生活（3）家族や地域の人々との関わり」
  - 「B 衣食住の生活（2）調理の基礎」
  - 「B 衣食住の生活（5）生活を豊かにするための布を用いた製作」
  - 「B 衣食住の生活（6）快適な住まい方」
- ・社会科や理科、総合的な学習の時間など他教科等との関連を図る



【補助資料 10】「知識及び技能」の習得に係る確認問題とその結果

問1 働くことによって得るお金を何とといいますか。

問1	人数	%
①利息	1	4.3%
②買物	0	0.0%
③支出	0	0.0%
④集金	1	0.0%
⑤けい約	0	0.0%
⑥情報	0	0.0%
⑦収入	22	95.7%
⑧バランス	0	0.0%
合計	23	

問2 目的のためにお金を支はらうことを何とといいますか。

問2	人数	%
①利息	0	0.0%
②買物	6	26.1%
③支出	16	69.6%
④集金	1	4.3%
⑤けい約	0	0.0%
⑥情報	0	0.0%
⑦収入	0	0.0%
⑧バランス	0	0.0%
合計	23	

問3 私たちの生活では、物やお金を使っています。このことを「消費」といい、私たちは「消費者」です。「消費者の役わり」として、私たちがするとよいことを全て選びましょう。

問3	選択数	%
①ほしいものがあるときは、すぐを買う	3	13.0%
②買ったものを大切に保管し、最後まで使い切る	19	82.6%
③買物をしていてこまったことがあったときは、自分で解決する	4	17.4%
④買物のときは、かん境に配りよしたマークのついている商品を選ぶ	17	73.9%
⑤買物のときは、不要なふくろや包そを断る	16	69.6%
⑥買物のときは、いつも一番安いものを選ぶ	7	30.4%
⑦買物のときは、つめかえのできる商品を選ぶ	12	52.2%
⑧買った後に必要がなくなったものは、すぐにごみとしてする	1	4.3%
合計	79	

※選択肢③「買物をしていてこまったことがあったときは、自分で解決する」について、「大人に相談する」「店の人に聞く」等を含めると正答になることも考えられるが、授業の際に「こまったことがあったときは、家族や先生等の大人に相談する」と扱っていることから、この調査においては正答として扱わないこととする。

問4 お店に買物に行きました。「けい約」が成立するのはどの場面ですか。

問4	人数	%
①買う物を決める (情報を比べる)	0	0.0%
②レジに行く (買うことを伝える)	20	87.0%
③お金を支はらう	2	8.7%
④品物とレシートを受け取る	1	4.3%
合計	23	

問5 問4について、考えた理由に一番近いものはどれですか。

問5	人数	%
①お金を支はらうことが必要だから	2	8.7%
②お金を支はらって品物を受け取ると、買物が完了するから	3	13.0%
③しっかりと情報を集めて、比べて考える責任があるから	1	4.3%
④おたがいの意思の確にんが必要だから	17	73.9%
合計	23	

[問1～5の結果]

- ・正答が一つの間1、2、4、5について、正答率はほぼ7割以上(問2のみ69.6%)となった。
- ・正答が複数ある問3では、正答を一つも選ぶことができなかった児童はいない。買った物の使い方(②)は82.6%、環境に配慮した具体的な行動(④、⑤、⑦)は52.2～73.9%の正答率。

消費生活の学習に関わる確にん問題と事後アンケート

5年( )組( )番名前( )

1 下の会話を読み、こう入する物を決めましょう。(決めるときは、自分の家族のことを考えます)

※今日は11月11日。あなたは家の人とスーパーに買い物に来ています。

今日の夜ご飯はからあげよ。じゅんぴを手伝ってほしいな。

いいよ。家庭科で作ったゆで野菜サラダを作ろうか？

いいね。サラダは何を入れるの？

キャベツと、にんじんと、たまごにしようかな。

家にはキャベツがないよ。他の野菜を見ている間に選んでもっていい？

うん。そこに売ってるから、選んでくるね！

A B C D

キャベツ 1/2カット 1袋 158円 (税込)  
※このまま使えます

キャベツ 東京産 198円 (税込)

キャベツ 岩手県産 216円 (税込)

キャベツ1/2カット 岩手県産 98円 (税込)  
※値下げ品 (少しキズあり)

① こう入するキャベツを決める前に、情報を集めて、整理しましょう。

	A	B	C	D
ねだん	158円	198円	216円	98円
<b>問い6</b>				
(買う物を選ぶ観点の理解)				

② あなたは、どのキャベツを選びましたか。選んだキャベツ (下のA~D) に○を付け、選んだ理由を書きましょう。

選んだキャベツ A ・ B ・ C ・ D

選んだ理由

【選んだ理由の書き方(れい)】

×いろいろ考えて選びました。 ○はじめに~を考えました。 ○Aは~で、Bは~で、  
□が一番いいからです。 次~を考えました。 Cは~で、Dは~でした。  
↑ ~を1番大切に~を □を選びました。  
~をくわしく書きましょう。 選びました。 □を選びました。

2 文房具店で自分が好きなキャラクターのついたふで箱を見つけ、こう入するか考えることにしました。どのようなことを考えますか。考えることを全て書きましょう。

# 問い7

(身近な物の買い方の理解)

※続きは、タブレットで回答してください。

問6 購入するキャベツを決める前に、情報を集めて整理しましょう。

観点	人数	順位
大きさ・量	10	3
産地	20	1
値段	2	7
値下げ	4	5
キズ	12	2
形状	10	3
包装	1	8
消費期限	3	6
その他	5	
無回答	0	

記述した観点	人数	%
5	3	13.0%
4	6	26.1%
3	5	21.7%
2	4	17.4%
1	5	21.7%
平均値	2.91	23

※記述した観点の数が「1」だった児童の記述の内容は、「産地(4名)」「消費期限(1名)」

〔問6の結果〕

- ・児童が選ぶ際の観点は、「産地」「品質(キズ)」「大きさ・量」「形状」が上位となった。
- ・「値段」は2名と少なかったが、確認問題②の選んだ理由として児童が一番多く取り上げていることから(15名)、値段を比べるのは当然であり、児童は、情報を集めて整理する際にあえて記述しなかったと考えられる。よって、児童が選ぶ際の観点には、「値段」も含まれている。
- ・記述した観点の数の平均値は「2.91」であり、記述した観点が「1」だった児童の記述内容が「値段」ではないことから、全員が複数の観点で情報を集めることができていた。
- ・「その他」では、「(A~Dを比べた)よいところ」「わるいところ」等、全部を比べた特徴を整理した回答もあったが、その際の観点は、上位となった観点と同様であった。

問7 文ぼう具店で自分が好きなキャラクターのついたふで箱を見つけ、こう入するか考えることにしました。どのようなことを考えますか。考えることを全て書きましょう。

考えること	人数	順位
予算・値段	17	1
見た目	7	3
必要性	6	5
活用できるか	7	3
品質（機能性）	9	2
品質（丈夫さ）	4	6
環境	3	7
その他	8	
無回答	1	

分類	人数	%
買う際のことのみ	2	8.7%
買った後のことのみ	1	4.3%
どちらも	18	78.2%
それ以外のことのみ	1	4.3%
無回答	1	4.3%
合計	23	

〔問7の結果〕

- ・児童が身近な物を買う際に考えることは、「予算・値段」「品質（機能性）」「活用できるか」「見た目」が上位となった。
- ・考えることの記述は、「予算・値段」「他の店はないか」といった買う際のこと、「必要性」「今後活用できるか」「品質（機能性、丈夫さ）」といった買った後の使用のことに、「環境に配慮したマークがついているか」といった環境に関わること等があった。
- ・買う際のことと買った後のことのどちらも考えている児童の割合が、78.2%であった。



## 【補助資料 11】学んだことを実践することに係る事後アンケートの結果

問 8 買物で物を選ぶときや買うとき、学んだことを実せんしていますか。

問 8	人数	%
①実せんしている	5	21.7%
②少しは実せんしている	8	34.8%
③あまり実せんしていない	2	8.7%
④実せんしていない	5	21.7%
⑤実せんの機会がなかった	3	13.0%
合計	23	21.7%

※肯定的回答 56.5%

※⑤を含めた肯定的回答 69.5%

問 9 ふだんの生活で物やお金を使うとき、学んだことを実践していますか。

問 9	人数	%
①実せんしている	7	30.4%
②少しは実せんしている	6	26.1%
③あまり実せんしていない	2	8.7%
④実せんしていない	4	17.4%
⑤実せんの機会がなかった	4	17.4%
合計	23	

※肯定的回答 56.5%

※⑤を含めた肯定的回答 73.9%

問 10 買物が必要か考えるとき、学んだことを実せんしていますか。

問 10	人数	%
①実せんしている	8	34.8%
②少しは実せんしている	7	30.4%
③あまり実せんしていない	1	4.3%
④実せんしていない	3	13.0%
⑤実せんの機会がなかった	4	17.4%
合計	23	

※肯定的回答 65.2%

※⑤を含めた肯定的回答 82.6%

問 11 これからの自分の生活で、学んだことを実せんしたいと思いますか。

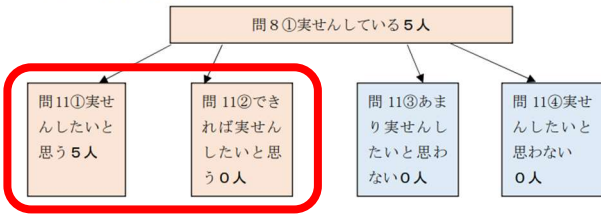
問 11	人数	%
①実せんしたいと思う	13	56.5%
②できれば実せんしたいと思う	6	26.1%
③あまり実せんしたいと思わない	2	8.7%
④実せんしたいと思わない	2	8.7%
合計	23	

※肯定的回答 82.6%

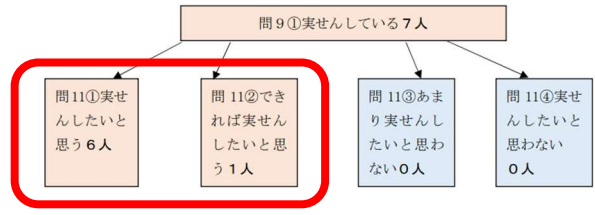
### 〔結果〕

- ・問 8～10 では、56.5～65.2%の児童が、3つの場面で「学んだことを実践している」「少しは実践している」の肯定的回答をしている。
- ・今後の実践については、82.6%の児童が肯定的回答をしている。
- ・問 8～10 の現在の実践と、問 11 の今後の実践意欲との決定木分析では、現在実践している児童は今後の実践にも意欲的な傾向があり、現在実践していない児童は今後の実践意欲も高くない傾向があった。また、実践の機会がなかった児童については、実践する機会はなかったものの実践意欲はあることが分かった。

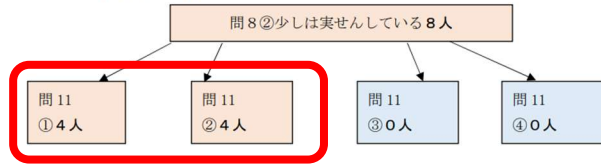
問8①→問11 決定木分析



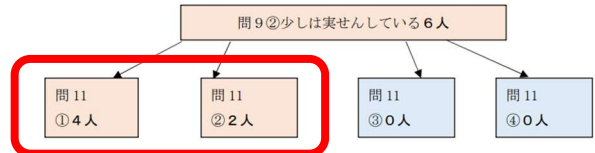
問9①→問11 決定木分析



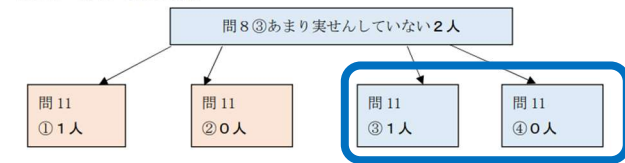
問8②→問11 決定木分析



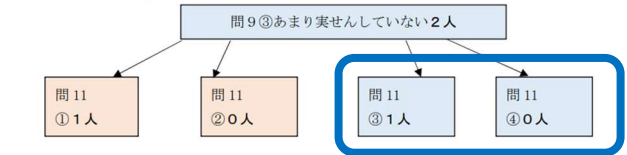
問9②→問11 決定木分析



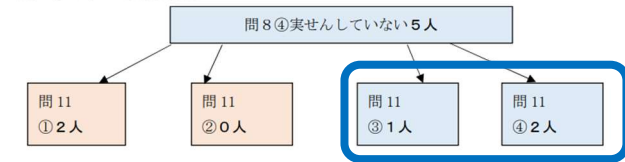
問8③→問11 決定木分析



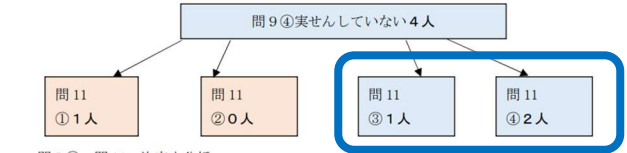
問9③→問11 決定木分析



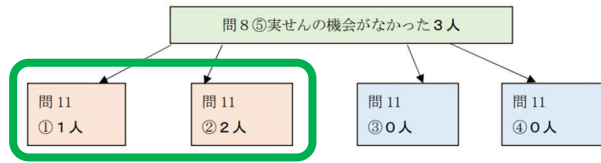
問8④→問11 決定木分析



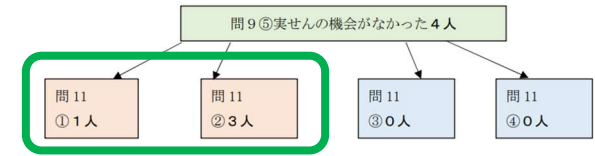
問9④→問11 決定木分析



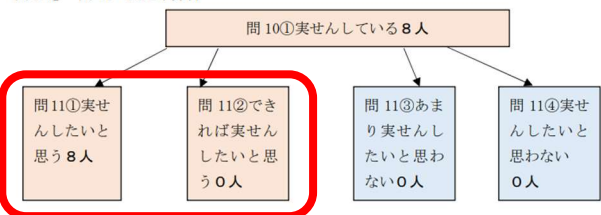
問8⑤→問11 決定木分析



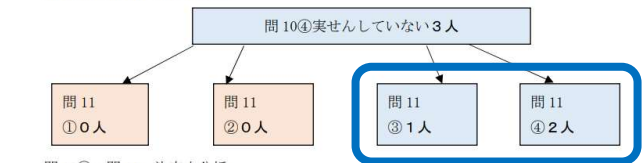
問9⑤→問11 決定木分析



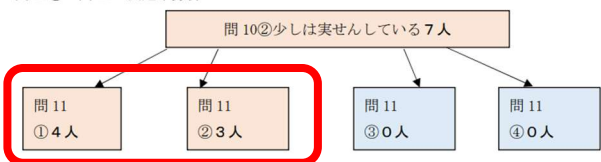
問10①→問11 決定木分析



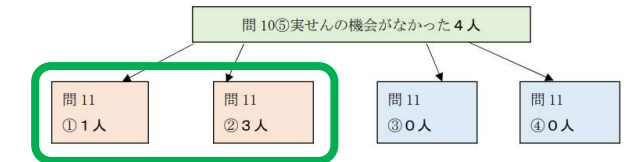
問10④→問11 決定木分析



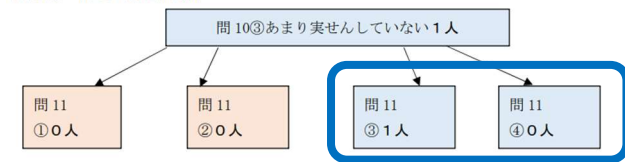
問10②→問11 決定木分析



問10⑤→問11 決定木分析







問10③→問11 決定木分析







【補助資料 12】米を選ぶ活動の様子の詳細

①米の情報（ロイロノートで提示）

1	2	3	4
			
岩手県産 880円 (税抜き)	岩手県産 1850円 (税抜き)	岩手県産 950円 (税抜き)	岩手県産 2180円 (税抜き)

②ワークシート（一部）

○買う物を選んでみよう。

1	2	3	4
			

選んだ物 (                      ) 選んだ理由 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_



③児童のワークシート

選んだ物 (2) 選んだ理由 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

選んだ物 (2) 選んだ理由 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

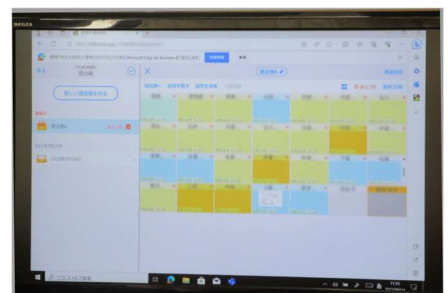
選んだ物 (金色の風) 2kg 選んだ理由 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④選択の様子と選択した理由

選択肢 (米)	選んだ人数	選んだ理由
1	0	
2	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量が多いので、長くもつ。(少ないとすぐなくなる)</li> <li>・家族の人数に合わせて。</li> <li>・ひとめぼれはいつも食べている。</li> <li>・値段が安くて、量が多い。</li> </ul>
3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家でひとめぼれを育てているから (金色の風は食べたことがない)。でも好きな味じゃなければ5kgもたべられない。</li> </ul>
4	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量が多いので、長くもつ。(少ないとすぐなくなる)</li> <li>・家族の人数に合わせて。</li> <li>・値段が高いものの方がおいしいと思う。</li> </ul>

⑤授業の様子

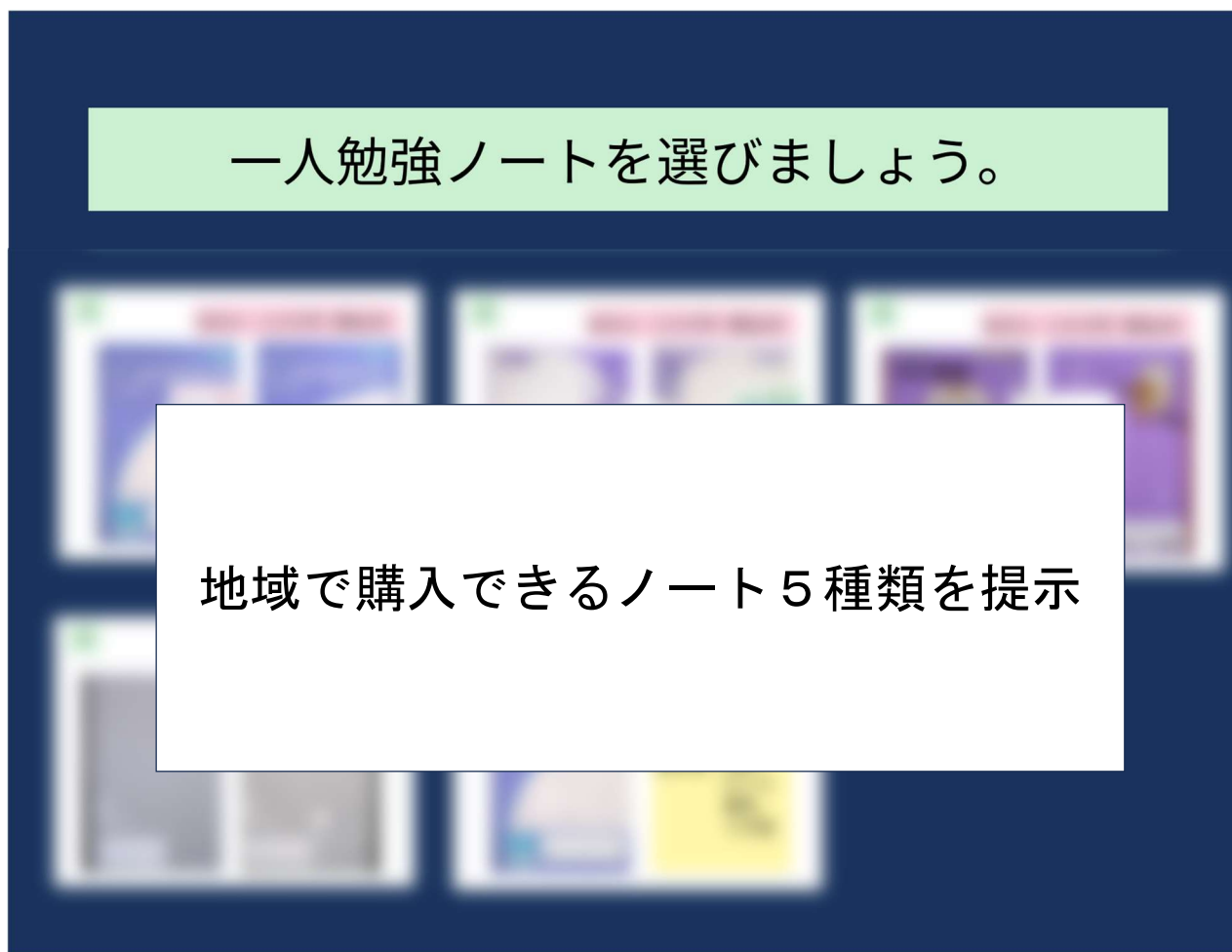
児童は、最初、「値段」に着目していたが、情報をよく見るうちに、「量」や「品種」にも着目し始めた。ロイロノートのカードを色分けすることで何を選んでいるか可視化し、理由の交流を行った。自分とは違う米を選んだ人の理由に興味をもち、家族の人数や好み、普段食べている品種等、交流を通して、購入する物の選び方について、それぞれが考えを深めていった。児童は、この活動を通して、購入する物を選ぶためには選び方があるということに気付いたようであった。



ロイロノートで可視化している場面

【補助資料 13】文房具（ノート）を選ぶ活動の様子の詳細

①ノートの情報（ロイロノートで提示）



②ノートの情報の詳細（学習時は、画面の拡大で確認）

	1	2	3	4	5
値段	195 円	195 円	184 円	110 円	877 円 (1冊約 175 円)
冊数	1 冊	1 冊	1 冊	1 冊	5 冊セット
ページ量	30 枚	30 枚	30 枚	30 枚	30 枚
マス	5mm 方眼 (10mm 実線入り)	5mm 方眼 (10mm 実線入り)	5mm 方眼 (10mm 実線入り)	5mm 方眼 (10mm 実線入り)	5mm 方眼 (10mm 実線入り)
環境	森林認証紙		グリーンマーク	F S Cマーク	森林認証紙
その他	J I Sマーク	ベルマーク			J I Sマーク
付属	教科シール付き	教科シール付き	勉強の進め方付き		教科シール付き
色	選べる	選べる	選べない	選べない	5色
特徴	きれいにきえる なめらかにかける	20%軽い	自主勉強用		きれいにきえる なめらかにかける

※ F S Cマーク：森林認証制度、グリーンマーク：原料に古紙を既定の割合以上配合、J I Sマーク：日本産業規格

③児童のワークシート

○買う物の情報を集めて、整理しよう

	1	2	3	4	5
ねだん	195円	195円	184円	110円	877円
分量(さつ数)	1さつ	1さつ	1さつ	1さつ	5さつ
科目シール	あり	あり	なし	なし	あり
5さつ合計	975円	975円	920円	550円	877円
あまり	805円	805円	816円	890円	123円
エコ	森林認証紙		グリーンマーク	FSCマーク	森林認証紙

○買う物を決定しよう

選んだ理由をくわしく書こう

選んだノート

( ⑤ )

5番のノートは5さつセットでも買えるから安いし、1〜3のノートも5さつ買うよりもおトクになる。あと、2のバリエーションがほかのなし、科目シールも入っているから。  
話し合っ、変えた場合は、その理由を書こう  
上で書いたようにプラスして森林認証紙の使用になってるから。

○買う物の情報を集めて、整理しよう

	1	2	3	4	5
ねだん	195円	195円	184円	110円	877円
分量(さつ数)	1さつ	1さつ	1さつ	1さつ	5さつ 145円
シール	あり	あり	ない	ない	あり
持ち運び	あり	あり	ない	ない	あり
エコ	森林認証紙		グリーンマーク	FSCマーク	森林認証紙

○買う物を決定しよう

選んだ理由をくわしく書こう

選んだノート

( 4 )

④のマークが安いし、持ち運びがたしていいから。  
話し合っ、変えた場合は、その理由を書こう  
4もエコのマークがあるし、持ち運びがたしていいから。

④選択の様子と選択した理由

選択肢(ノート)	選んだ人数	選んだ理由
1	0	・値段(安い、ちょうどよい、おつりが少ない)
2	1	・色を選べる ・科目シール
3	0	・まとめ買いできる ・エコ
4	2	・デザイン ・普段使っている
5	17	・品質(きれいにかける、消しやすい、軽い) 等



## ⑤学習の様子

ノートを選ぶにあたり、下記のように状況設定を行った。

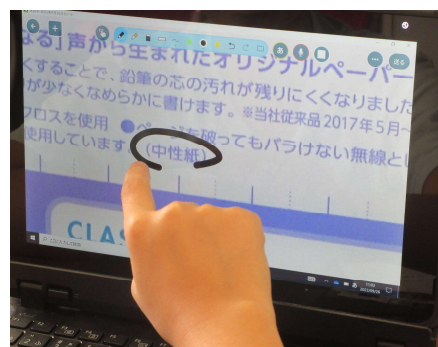
### 〔状況の設定〕

- ・一人勉強ノートがなくなりそうである
- ・持っているお金は1000円（残ったお金はおうちの人に返す）
- ・ノートがなくなった時は、自分で買いに行くことになっている
- ・10mm方眼のノートは、算数・社会・理科・一人勉強で使っている

ロイロノートで提示したノートについては、写真を拡大することで情報を読み取ることができた。児童は、最初は値段やシール等、提示した一覧で分かる情報を中心に着目していたが、だんだんとノートの情報に気付く児童が出てくると、拡大しているいろいろな部分に着目し始めた。

情報を整理するために、ワークシートに表を作成し、書き込むことができたようにしていた。しかし、表を使って同じ観点で情報を比べることができない児童が多く、途中で、表の同じ行には同じ観点の情報を書き込むことを指導した。指導後には、表を使って情報を整理できる児童が増えた。

購入する物を選ぶ体験活動において、実物を実際に比べる活動を設定できるとよいが、学級全員が十分選べるように準備することは難しい。本実践では、写真を拡大して必要な情報を得る形で体験活動を行ったが、児童が自分で調べて情報を得る体験をするという点では、学習のねらいに沿った活動であったと考える。各班で、気付いた情報やその見つけ方を教え合う様子も見られた。



気付いた情報に印を付ける様子



班で話し合う様子

- |                               |                         |
|-------------------------------|-------------------------|
| C1 (5のノート) これが色的にめっちゃいい。      | C6 (シール) こういうの苦手。書きにくい。 |
| C2 何ページある？                    | C7 5冊合計の値段は？            |
| C3 たしかに。ページ気になる。<br>(みんなで調べる) | C8 えー、計算分かんない。          |
| C4 シールはない方がいい。                | C9 電卓あるよね。              |
| C5 わたしも。                      | C10 どこ？                 |
|                               | C11 設定のところから… (計算)      |

班での話し合いの様子

最後、どのノートを購入するか選ぶ場面では、整理した情報を活用して選ぶようにした。それぞれが理由をもって自分の最適解を見つけられることが大切であり、理由の交流の時間を確保するようにした。また、「環境」という観点を選択の理由にしている児童や複数の観点を関連付けて考えている児童、設定した状況から自分の生活に合わせて考えている児童（③の下段ワークシートの児童）等は意図的に取り上げるようにした。交流後に最終決定する場面を設けたが、児童の記述から、理由の交流を通して、整理した情報を基に自分の考えをもって選択する様子が見られた。

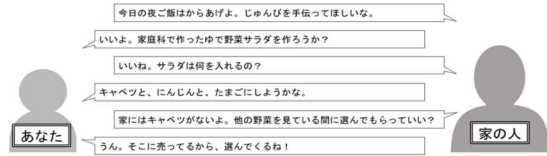
## 【補助資料 14】「思考力、判断力、表現力等」の育成に係る確認問題とその結果

消費生活の学習に関わる確にん問題と事後アンケート

5年( )組( )番 名前( )

1 下の会話を読み、こう入する物を決めましょう。(決めるときは、自分の家族のことを考えます)

※今日は11月11日。あなたは家の人とスーパーに買物に来ています。



① こう入するキャベツを決める前に、情報を集めて、整理しましょう。

	A	B	C	D
ねだん	158円	198円	216円	98円

問題 あなたは、どのキャベツを選びましたか。選んだキャベツ（下のA～D）に○を付け、選んだ理由を書きましょう。

選択	人数	%	※回答数 23
A	5	21.7%	
B	3	13.0%	
C	7	30.4%	
D	8	34.8%	

基準	人数	%
複数の観点で情報を集めて比較・検討し、理由をもって決めている	15	65.2%
複数の観点で情報を集め、理由をもって決めている	7	30.4%
複数の観点で情報を集めていない、又は、決めた理由を記述していない	1	4.3%

② あなたは、どのキャベツを選びましたか。選んだキャベツ（下のA～D）に○を付け、選んだ理由を書きましょう。

選んだキャベツ A ・ B ・ C ・ D

選んだ理由

# 問題

(購入する物を決める)

×いろいろな考えて選びました。  
□が一番いいからです。

○はじめに～を考えました。  
次に～を考えました。  
～を1番大切にして□を選びました。

○Aは～で、Bは～で、  
Cは～で、Dは～でした。  
うちの家族は～だから□を選びました。

2 文房具店で自分が好きなキャラクターのついたふで箱を見つけ、こう入するか考えることにしました。どのようなことを考えますか。考えることを全て書きましょう。

・  
・  
・  
・

3 授業の中では、お米やノートを選ぶ活動をしました。活動をした感想を教えてください。

.....  
.....  
.....

※続きは、タブレットで回答してください。

理由の要素（観点）	人数	順位
大きさ・量	14	2
産地	5	3
値段	15	1
キズ（品質）	5	3
すぐ使える（形状）	4	5
家族の人数（大きさ・量）	1	7
調理しやすさ（形状）	1	7
消費期限	2	6
その他	3	
無回答	0	

※理由の要素（観点）の一人当たりの平均値 2.17

〔結果〕

- 「複数の観点で情報を集めること」と「購入する物を決めること」は、すべての児童ができていた。購入する物を決めた理由を記述していない児童が1名いたものの、22名（95.6%）は「購入に必要な情報を活用し、理由をもって購入する物を選ぶこと」ができた。
- 選んだ理由の要素（観点）は、「値段」「大きさ・量」「産地」「キズ（品質）」「すぐ使える（形状）」が上位となった。選んだ理由の要素（観点）の一人当たりの平均値は「2.17」であった。
- 選んだ理由に自分や家族の生活に即して考えたことを記述した児童は、4人（23人中）だった。

【補助資料 15】購入する物を選ぶ活動の必要性に係る事後アンケートの結果

①選択式回答

問 12 学習の1時間目には、お米を選ぶ活動をしました。この活動をしたことで、これからのような学習をするか、確にんすることができましたか。

問 12	人数	%
①確にんすることができた	15	65.2%
②だいたい確にんすることができた	5	21.7%
③あまり確にんすることができなかった	0	0.0%
④確にんすることができなかった	1	4.3%
⑤授業に参加していない	2	8.7%
合計	23	

※肯定的回答 86.9%

問 13 学習の4時間目には、ノートを選ぶ活動しました。この活動をしたことで、よりよい買物について学ぶことができましたか。

問 13	人数	%
①学ぶことができた	13	56.5%
②だいたい学ぶことができた	4	17.4%
③あまり学ぶことができなかった	1	4.3%
④学ぶことができなかった	3	13.0%
⑤授業に参加していない	2	8.7%
合計	23	

※肯定的回答 73.9%

②記述式回答

問 14 授業の中では、お米やノートを選ぶ活動をしました。活動した感想を教えてください。

読み取りのポイント	人数	%
「おもしろい」、「たのしい」、「むずかしい」という感想	2	8.7%
学習が役に立つという実感、知見を広げた実感	13	56.5%
多様な考え方に触れることの価値を実感	5	21.7%
行動目標の設定または意思表示	1	4.3%
その他・無回答	2	8.7%
合計	23	



〔結果〕

- ・学習のねらいを達成したかに関わり、問 12（米）は 86.9%、問 13（ノート）は 73.9%が肯定的回答であった。
- ・購入する物を選ぶ活動についての感想を記述した回答では、「学習が役に立つという実感、知見を広げた実感」が 56.5%、「多様な考え方に触れることの価値を実感」が 21.7%で、上位二つであった。

【補助資料 16-1】完成した指導計画例 1

計画例 1

題材名 よりよい買物の仕方を考えよう

既習事項
<b>【3年社会】</b> ・地域にみられる販売や生産の仕事 <b>【4年社会】</b> ・県内の特色ある地域の様子

題材で育成する資質・能力
・買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方と買い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理に係る技能を身に付ける。 ・身近な物の選び方や買い方についての問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

家庭科の系統性
(6年) ・環境に配慮した生活 [中学校] ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費生活・環境についての課題と実践

他教科・他内容 (5年生)
[社会] ・我が国の農業や水産業における食糧生産 [道徳] ・「もったいない」(環境保全と自分の関わり) [他内容] ・内容 B 衣食住の生活(2) 調理の基礎

学習過程	時間	学習活動・学習内容	選択①～③ ○課題例	学習活動例
生活の課題発見	1	<b>第1次 (1時間) ①題材の導入</b> ○今までの買物を振り返り、学習の課題を見つけよう。 ・地域のいろいろなお店を想起する。 ・買物の経験(気を付けていること、失敗談等)を話し合い、買物の様子を振り返る。 ・題材の学習課題を確認し、自分の課題を設定する。		
解決方法の検討と計画	2	<b>題材の学習課題</b> よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 (③題材のゴールの活動： )		
	3	<b>第2次 (4時間)</b> ○身近なお金の流れや買物について知ろう。 ・家庭のお金の流れから、自分の生活とお金の関わりについて考える。 ・買物が成立する場面を考える活動から、買物の仕組みを知る。  ○身近な物の買い方について知ろう。 ・買物の手順とそれぞれの手順におけるポイントを話し合って確認する。 ・いろいろな購入や支払い方法について知る。 ・おこづかいの使い方を考える活動から、物や金銭の計画的な使い方を知る。		
課題解決に向けた実践活動	4	<b>実践活動 ②購入する物を選ぶ活動</b> ○よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 (2時間の課題) ・購入する物の情報を収集、整理する。 ・情報を基に根拠をもって意思決定する。 ・購入する物を選んだ理由を交流する。  ○よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 ・物を選ぶ際の観点をまとめる。 ・商品についている表示やマークについて知る。 ・自分の今までの買い物を振り返る(評価・改善する)。		
	5			
実践活動の評価・改善	6	<b>第3次 (1時間) ③題材のゴールの活動</b> ○題材の学習を振り返り、「よりよい消費者宣言」をまとめよう。 ・「消費者の役割(大切なこと)」を話し合う。 ・題材で学習したことを活用して、「よりよい消費者宣言」を作成する。(自分の課題の解決につなげる) ・題材の学習を振り返る。		
		<b>児童の学び</b> よりよい買物をするためには、 <b>収支のバランス、値段、分量、品質、本当に必要か、使いきれぬか、環境への影響</b> など様々なことをよく考えて、自分に合った意思決定をすることが大切である。		

題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解ししていると同時に、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。  ※知識・技能は確認テスト等での見取りも必要	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

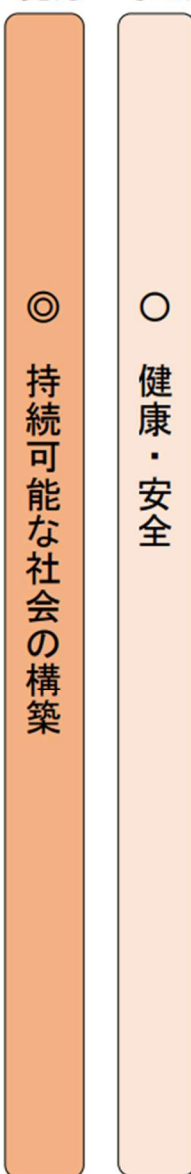
### 学習のポイント

☆学習のキーワード

・自分の生活を見つめ、課題を設定できるようにする。 （題材の学習課題） （自分の学習課題） ☆消費、消費者
☆物や金銭の大切さ （収入、支出、有効に使う） ☆買物の仕組み （売買契約、義務）
☆身近な物の買い方 ☆物や金銭の計画的な使い方 ☆支払い方法
☆身近な物の選び方 （買物の観点：値段、品質、分量、環境への配慮等） （表示やマーク） ・情報を取直し、整理して、多様な観点から比較し検討する
☆消費者の役割 → 第6時でも可 （☆消費者の役割） ・身近な消費生活をよりよくするために、自分の生活でできることを考える ・課題に対するまとめや学習の振り返りをする。

### 重点化した部分 （その他メモ）

### 働かせる 見方・考え方



### 各時間の評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		①
② 本時のまとめ		
	② 意思決定の理由	② 各時間の振り返り
	③ 評価・改善の内容	
	④ よりよい消費者宣言	③ まとめ

※学習後の確認テスト等

### 題材構成のポイント

・  
・

※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）



【補助資料 16-2】完成した指導計画例 2

計画例 2

題材名 買い物名人になろう

既習事項
<b>【3年社会】</b> ・地域にみられる販売や生産の仕事 <b>【4年社会】</b> ・県内の特色ある地域の様子

題材で育成する資質・能力
・買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さと計画的な使い方、身近な物の選び方と買い方について理解するとともに、購入するために必要な情報の収集・整理に係る技能を身に付ける。 ・身近な物の選び方や買い方についての問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

家庭科の系統性
(6年) ・環境に配慮した生活 [中学校] ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費生活・環境についての課題と実践

他教科・他内容 (5年生)
[社会] ・我が国の農業や水産業における食糧生産 [道徳] ・「もったいない」(環境保全と自分の関わり) [他内容] ・内容 B 衣食住の生活 (2) 調理の基礎

学習過程	時間	学習活動・学習内容
生活の課題発見	1	第1次 (1時間) ①題材の導入 ○買い物の模擬体験をして、学習の課題を見つけよう。 ・家族が喜ぶみそ汁作り(家庭実践)にあたって、必要な準備を確認する。 ・材料(ねぎ)の模擬買物体験を行い、買物に必要な力について話し合う。 ・題材の学習課題を確認し、自分の課題を設定する。
解決方法の検討と計画	2	題材の学習課題 目的に合ったよりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 (③題材のゴールの活動： )
	3	第2次 (4時間) ○身近なお金の流れや買物について知ろう。 ・家庭のお金の流れから、自分の生活とお金の関わりについて考える。 ・買物が成立する場面を考える活動から、買物の仕組みを知る。  ○身近な物の買い方について知ろう。 ・買物の手順とそれぞれの手順におけるポイントを話し合って確認する。 ・いろいろな購入や支払い方法について知る。 ・おこづかいの使い方を考える活動から、物や金銭の計画的な使い方を知る。
課題解決に向けた実践活動	4	実践活動 ②購入する物を選ぶ活動 ○目的に合ったよりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。(2時間の課題) ・みそ汁に使う材料(豆腐)の情報を収集、整理する。 ・情報を基に根拠をもって意思決定する。 ・豆腐を選んだ理由を交流する。  ○目的に合ったよりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろう。 ・物を選ぶ際の観点をまとめる。 ・商品についている表示やマークについて知る。 ・自分の選び方を見直す(評価・改善する)。 ・「消費者の役割(大切なこと)」を話し合う。
実践活動の評価・改善	5	
	6	第3次 (1時間) ③題材のゴールの活動 ○題材の学習を振り返り、「買物名人〇か条」をまとめよう。 ・題材で学習したことを活用して、「買物名人〇か条」を作成する。(自分の課題の解決につなげる) ・自分がまとめた「買物名人〇か条」を使って、家族がよろこぶみそ汁作りにあたっての、材料の購入計画を立てる。 ・題材の学習を振り返る。
家庭・地域での実践		児童の学び 目的に合った買物をするためには、 <b>収支のバランス、値段、分量、品質、本当に必要か、使いきれるか、環境への影響</b> など様々なことをよく考えて、 <b>自分に合った意思決定</b> をすることが大切である。

選択①～③  
○課題例

・学習活動例

題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買い物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。  ※知識・技能は確認テスト等での見取りも必要	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

### 学習のポイント

☆学習のキーワード

・自分の生活を見つめ、課題を設定できるようにする。 （題材の学習課題） （自分の学習課題） ☆消費、消費者
☆物や金銭の大切さ （収入、支出、有効に使う） ☆買物の仕組み （売買契約、義務）
☆身近な物の買い方 ☆物や金銭の計画的な使い方 ☆支払い方法
☆身近な物の選び方 （買物の観点：値段、品質、分量、環境への配慮等） （表示やマーク） ・情報を収集し、整理して、多様な観点から比較し検討する
☆消費者の役割 → 第6時でも可
（☆消費者の役割） ・身近な消費生活をよりよくするために、自分の生活でできることを考える ・課題に対するまとめや学習の振り返りをする。

### 重点化した部分 （その他メモ）

### 働かせる 見方・考え方

◎	○
持続可能な社会の構築	健康・安全

### 各時間の評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		①
	② 意思決定の理由	② 各時間の振り返り
	③ 評価・改善の内容	
	② 買い物計画 ④ 買い物○か条	③ まとめ

※学習後の確認テスト等

### 題材構成のポイント

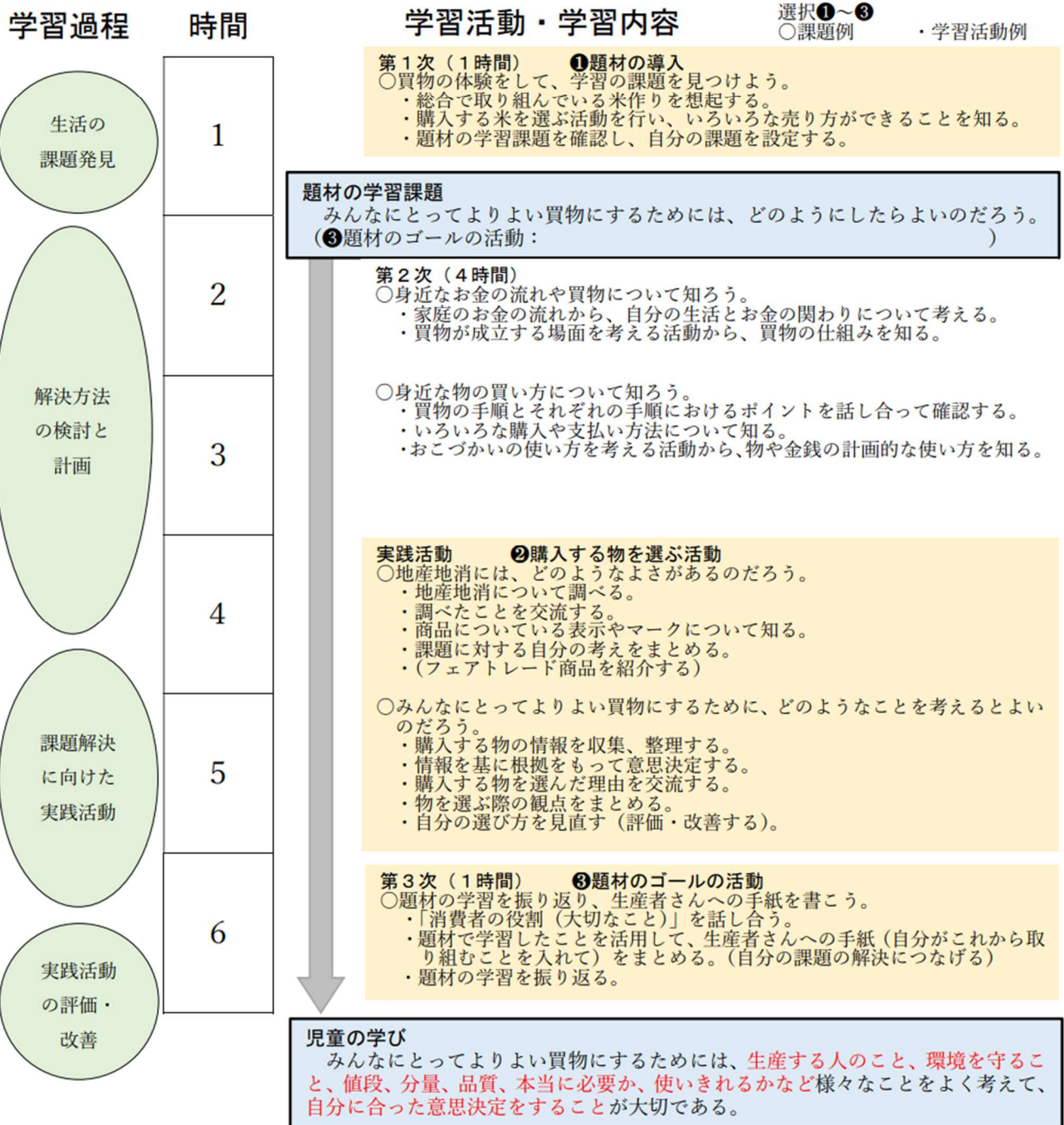
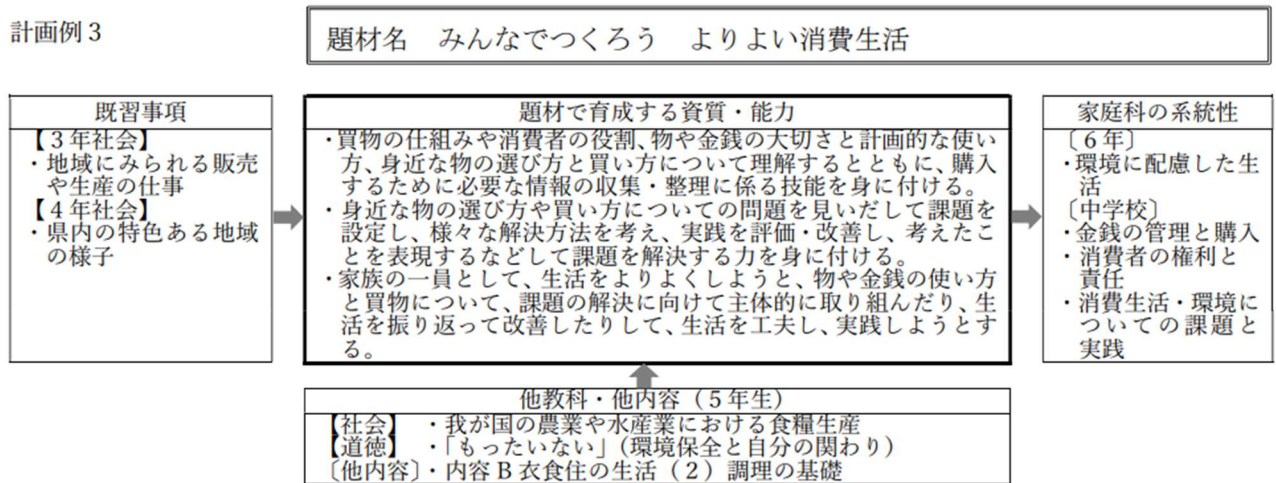
※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）

・  
・



【補助資料 16-3】完成した指導計画例 3

計画例 3





題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買い物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。  ※知識・技能は確認テスト等での見取りも必要	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

### 学習のポイント

☆学習のキーワード

・自分の生活を見つめ、課題を設定できるようにする。 （題材の学習課題） （自分の学習課題） ☆消費、消費者
☆物や金銭の大切さ （収入、支出、有効に使う） ☆買物の仕組み （売買契約、義務）
☆身近な物の買い方 ☆物や金銭の計画的な使い方 ☆支払い方法
☆身近な物の選び方 （買物の観点：値段、品質、分量、環境への配慮等） （表示やマーク） ・情報を収集し、整理して、多様な観点から比較し検討する
☆消費者の役割 → 第6時でも可
（☆消費者の役割） ・身近な消費生活をよりよくするために、自分の生活でできることを考える ・課題に対するまとめや学習の振り返りをする。

### 重点化した部分 （その他メモ）

### 主に働かせる 見方・考え方

◎	○	○
◎ 持続可能な社会の構築	○ 健康・安全	○ 家族や地域の人々との協力

### 各時間の評価の計画

知・技	思判表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		①
		② 各時間の振り返り
	② 意思決定の理由 ③ 評価・改善の内容	
	④ 生産者さんへの手紙	③ まとめ

※学習後の確認テスト等

### 題材構成のポイント

※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）

・  
・

【補助資料 17-1】完成した活用の手引（おもて面）

令和5年度 岩手県立総合教育センター  
 小学校家庭科「C消費生活・環境」

## 児童の実態や地域に応じた題材を構成するための 指導計画例を活用した指導計画作成の手引

消費者を取り巻く現状と課題から、自立した消費者を育成する実践的な消費者教育は、喫緊の課題となっている。現行の学習指導要領は、消費者教育に関する学びを充実した形で改訂されており、小学校家庭科においても、消費者教育の充実が求められている。本研究では、消費者教育に関わる内容である「C消費生活・環境」の学習の充実のために、家庭科を担当する教員が、題材の構成をし、指導計画を作成するための指導計画例とその活用の手引を作成した。

### 指導計画例を活用した指導計画作成の手順

- 手順1 児童を対象に、「学習前アンケート」を実施する。
- 手順2 「題材を構成するためのチェックリスト」をチェックする。
- 手順3 チェックした項目を参考に、「題材全体の学習の流れの一覧」から活用する指導計画例を選択する。
- 手順4 「選択・重点化できる部分」から、①題材の導入、②実践活動（購入するものを選ぶ活動）、③題材のゴールの活動を選択し、必要に応じて重点化したい部分を決める。
- 手順5 指導計画の項目にある「題材構成のポイント」をまとめる。

### 手順1 「学習前アンケート」（児童）を実施する

1	1 おうちの人と買物に行ったことはありますか。	買物の経験等
2	→ 買物に行く頻度	
3	→ 買物に行くお店	
4	4 おうちの人と買物に行った際、自分で買う物を選んだ経験はありますか。	
5	→ 選んだもの	
6	6 今までに一人で（または子どもだけで）買物をした経験はありますか。	
7	→ 一人で（または子どもだけで）買物をした経験の回数	
8	→ 買ったもの	
9	9 買物で困ったり、失敗したりした経験はありますか。	困った経験
10	→ その時の対処法	
11	11 おうちの人が買物で困ったり、失敗したりした話を聞いたことはありますか。	いろいろな購入・支払い
12	12 インターネットを使って、自分で選んで買物をした経験はありますか。	
13	→ 何を買いましたか。	
14	14 ゲームや音楽、マンガなど、インターネット上で課金（料金を支払うこと）をした経験はありますか。	
15	→ それは何ですか。	
16	16 バスカードや図書カードをはじめとするプリペイドカード（お金の支払いができるカード）を使った経験はありますか。	

※【印刷用】と【Excel版】（フォーム作成用）があります。

### 手順2 「題材を構成するためのチェックリスト」（担当教員）を実施する

		チェック	関連する指導計画例
1	買物の経験が多い		1-1
2	買物で困ったり、失敗したりした経験のある児童が、ある程度いる		1-1
3	児童のアンケート		1-2
4	買物の経験が少ない		重点化
5	現金以外の購入や支払いの経験のある子が、ある程度いる		重点化
6	児童の状況		重点化
7	※必要に応じて記入		重点化
8	育てたい力（		重点化
9	課題（		重点化
10	いろいろなお店（大型店、地域に根付いた商店、コンビニエンスストア等）がありますか		1-1
11	地域の状況（販売）		1-1
12	大体の児童に、徒歩圏内で買物ができるお店がありますか		1-1
13	地域にお店がほとんどない地域ですか		1-2
14	学校行事		2-1
15	修学旅行等、買物の機会がある行事が近い時期にありますか		2-1
16	お世話になった人への感謝の会等、買物を取り入れることができる行事はありますか		2-2
17	家庭科の学習で、買物を取り入れることができる内容を予定していますか		2-2
18	家庭科との関連		2-3
19	家庭科の食生活の学習で、家庭実践を予定していますか		2-3
20	家庭科の衣生活の学習で、すずしい着方の学習が近くにありますか		2-4
21	環境に関する学習の経験はありますか		1-3
22	総合的な学習の時間に、地域の特産品の栽培、飼育、製造に関わる機会はありますか		3-2
23	特産品（食品）を栽培、飼育、製造する人と関わる学習はしていますか		3-1
24	社会の学習で取り上げられる身近な地域の特産品（食品）はありますか		3-1
25	地域の状況（特産品）		3-1
26	特産品（食品）を栽培、飼育、製造する様子を児童が目にする機会はありますか		3-1

※チェックした内容と関連する指導計画例を示しています。



### 手順3 活用する指導計画例を選択する

学習の流れ	指導計画例 選択のポイント	選択①題材の導入	題材の学習課題	選択②実践活動 (導入する物を選ぶ活動)	選択③題材のゴールの活動	重点化できる 学習活動
生活経験や地域性に 合わせて買物との関わり を想起して課題を設定し、 よりよい消費生活のために 自分にできることを考える。	・地域の買物の種類や買物の経験が多い地域である ・地域のお店の買物の経験も少ない地域である ・環境と買物との関わりを学習を行っている	1 買物で気を付けていること (買物の経験) 2 買物の類似体験 (体験活動) 3 環境と買物との関わり (既習事項との関連)	よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろうか。	・文具(ノート、筆箱、ペン、のり等) ・豆腐 ・卵 ・お菓子 ・野菜(ねぎ、じゃがいも、キャベツ等) ・加工品(ハム、ベーコン、ウインナー等) ・飲料 ・Tシャツ ・水筒 ・布 ・地域の特産品(野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等) ・育てたもの(米、野菜等)	よりよい買物をするために自分にできることをまとめ、発信する。 例 ・「よりよい消費者宣言」 ・「環境を守る買物の仕方」 ・「買い物名人〇か条」	○情報活用能力の育成 ・情報の収集 ・情報の分類、整理 ・情報モラル ・セキュリティ  ○言語能力の育成 ・意見交流 ・アンケート ・インタビュー ・模擬体験 ・ロールプレイング  ○現金以外のお金の使い方
学校行事や他内容と関連させて課題を設定し、 目的に合った購入やよりよい消費生活のために 自分にできることを考える。	・買物の場面がある行事がある ・材料選びと購入をする行事がある ・食生活の内容で家庭実践と関連付けられる ・衣生活の内容で材料の購入と関連付けられる	1 修学旅行の買物(買物の場面がある行事との関連) 2 お世話になった人への感謝の会(材料選びや購入をする行事との関連) 3 家族が喜ぶ食事作りの材料購入:おかず・みそ汁(B食生活の内容と関連) 4 袋を製作する布の購入(B衣生活の内容と関連)	目的に合ったよりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろうか。	※題材全体を通した指導の流れに合わせて決める 例: 1回(導入と選び方) 2回(導入と選び方) 2回(選び方で繰り返す)	これからの自分の買物に活かしたいことをまとめ、発信する。 例 ・「買物名人〇か条」 ・買物の仕方パンフレットをまとめる	※必要に応じて題材の学習活動に取り入れる
地域の特産品(食品)や学校での栽培体験の想起から課題を設定し、 生産者にも目を向けながらよりよい消費生活のあり方を考える。	・地域の特産品がある ・学校での栽培体験がある	1 3年生の社会の学習の想起(地域の特産物や作り手) 2 学校での栽培体験を想起(栽培時の思い出、苦労)	みんな(作った人、自分等)にとってよりよい買物にするためには、どのようにしたらよいのだろうか。	【選択するポイント】 ・児童が購入経験のある物 ・児童が身近に使う物 ・みんなが持っている物の中で、選ぶ観点が多い物や分かりやすい物 ・題材全体の指導の流れに関わる物(行事、家庭料、特産品、栽培体験等) ・環境に配慮した商品がある物 ・採集で扱いたい買物の観点で選ぶことができる物 (種類、鮮度、品質、期限、安全性等)	みんなにとってよりよい買物にするために自分にできることをまとめ、発信する。 例 ・「よりよい消費者宣言」 ・「買物名人〇か条」 ・生産者さんへの手紙	

### 手順4 指導計画例を活用し、選択、重点化する部分を決める

### 手順5 題材構成のポイントを記入する

題材名: よりよい買物の仕方を考えよう

学習の流れ

1 生活の調査  
2 買物の種類や買物の経験が多い地域である  
3 環境と買物との関わりを学習を行っている

学習のポイント

重点化する部分(その他メモ)

各時間の評価の計画

① 買物の種類  
② 買物の経験  
③ 買物の関わり

健康・安全

重点化

題材構成のポイント

- ・ 選択する部分は3か所
- ・ 重点化は必要に応じて

具体的な内容は、裏面を参照

### 指導計画の完成

○本手引を含めた研究成果物は、岩手県立総合教育センターのWebページに掲載しております。  
<https://www1.iwate-ed.jp/04kenkyu/111gika.html>

- 【研究成果物】
- ・ 指導計画例、活用の手引
  - ・ 学習前アンケート
  - ・ 題材を構成するためのチェックリスト
  - ・ 題材全体を通した学習の流れ
  - ・ 各時間の指導略案、ワークシート(参考用)





指導計画作成と授業の実施について

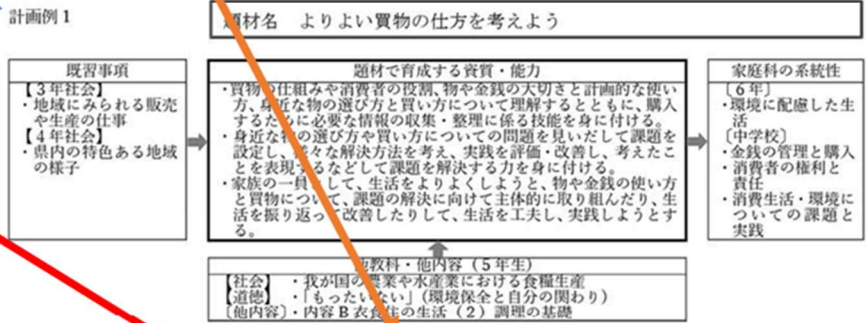
家庭科の学習の充実に向けたポイント

- 1 題材の導入で、問題を見いだして課題を設定する学習活動を行う
- 2 購入する物を選ぶ活動（実践的・体験的な活動）を通して学ぶ
- 3 教科の見方・考え方を働かせて考える
- 4 題材の学習の最後には、自分の生活における実践について考える
- 5 教科の評価の仕方に基づいて評価をする ※「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」参照

各時間の課題例、  
学習活動例等

※ここに示す内容は、例となります。  
必要に応じて変更し、右の「その他メモ」欄に書き込みます。

手順3  
指導計画例の  
選択



1 問題を見いだして、課題を設定する

※この活動を丁寧に扱い、児童が学習と生活を結び付けて考えられるようにします。

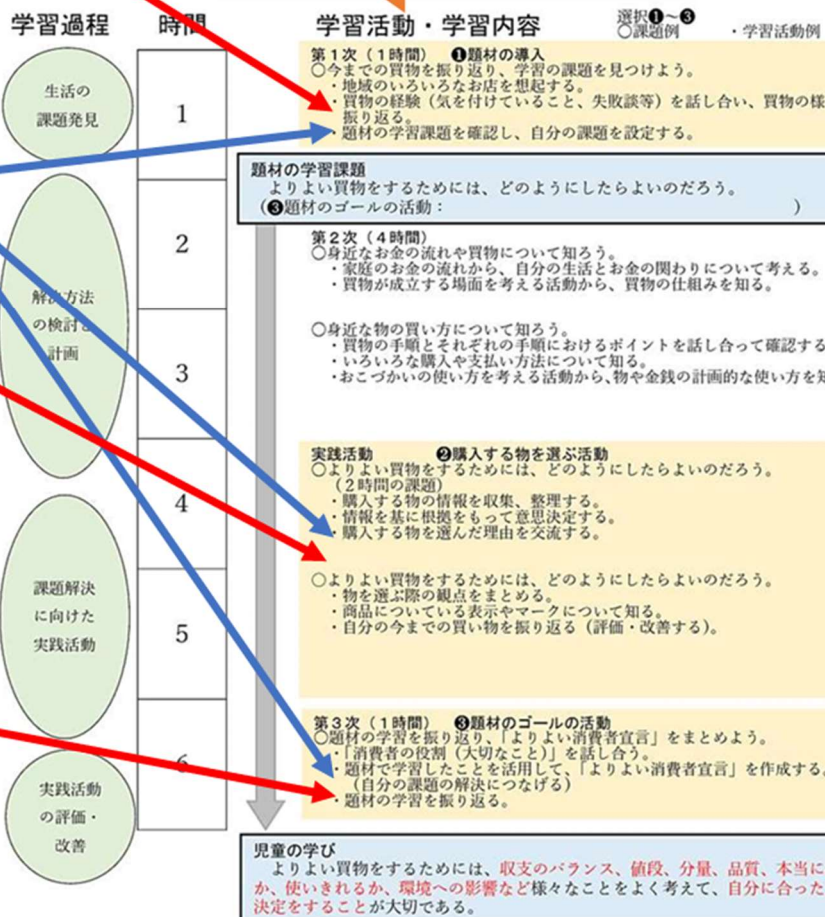
手順4-1  
選択①～③

2 購入する物を選ぶ活動

※実践的・体験的な活動を通して、生活の中で実践できる資質・能力を育成します。

4 今後の実践について考える

※生活に戻して学習をまとめます。「実践しようとする態度」の評価（主体③）を行います。



## このページの見方

学習の充実に向けたポイント

指導計画作成の手順

授業の際に着目する部分

指導計画作成に活用する指導計画例は、下記①～③の考え方に沿って作成しています

考え方① 「C消費生活・環境（１）」の指導事項を網羅する

考え方② 実態把握を基に、学習と生活を結び付けて考えることができる題材の学習の流れにする

考え方③ 購入する物を選ぶ活動を設定する

### 学習の ポイント

※各時間の指導のポイント、  
学習のキーワードとして  
指導事項を示しています。

### 5 題材の評価規準（具体化したもの）と各時間の評価の計画

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①買物のしくみが分かり、物や金銭の大きさと金銭の計画的な使い方について理解している。 ②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。 ③身近な物の選び方を理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ※知識・技能は確認テスト等での見取りも必要	①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。 ②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。 ③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。 ④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。

※評価場面に合わせて具体化した評価規準と、各時間の評価の計画を示しています。見通しをもって評価を行いましょう。（特に「思考・判断・表現」の評価を適切に行うことがポイントです）

### 学習のポイント

☆学習のキーワード

・自分の生活を見つめ、課題を設定できるようにする (題材の学習課題) (自分の学習課題) ☆消費、消費者
☆物や金銭の大切さ (取入、支出、有効に使う) ☆買物の仕組み (売買契約、義務)
☆身近な物の買い方 ☆物や金銭の計画的な使い方 ☆支払い方法
☆身近な物の選び方 (買物の観点：値段、品質、分量、環境への配慮等) (表示やマーク) ・情報を取直し、整理して、多様な観点から比較検討する
☆消費者の役割 一 第6時でも可 (☆消費者の役割) ・身近な消費生活をよりよくするために、自分の生活でできることを考える ・課題に対するまとめや学習の振り返りをする。

### 重点化した部分 (その他メモ)

### 働かせる 見方・考え方

### 各時間の評価の計画

知・技	思考表	主体
	① 設定した課題	
① 本時のまとめ		
② 本時のまとめ		
	② 意思決定の理由	① ② 各時間の振り返り
	③ 評価・改善の内容	
	④ よりよい消費者宣言	③ まとめ

※学習後の確認テスト等

### 題材構成のポイント

※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）

### 手順4-2 重点化

※重点化したい内容があれば、書き込みます。  
↓  
重点化に伴い、左の学習活動等に変更があれば、書き込みます。

### 3 働かせる見 方・考え方

※教科の見方・考え方を示しています。よりよい消費生活を工夫する上での拠り所となる見方・考え方です。

### 手順5 題材構成の ポイント

※作成した指導計画のポイントをまとめます。



【参考資料1】学習前アンケート（完成版）

家庭科の学習に関わる学習前アンケート（項目のみ）

1	おうちの人と買物に行ったことはありますか。	買物の 経験等
2	→ 買物に行く頻度	
3	→ 買物に行くお店	
4	おうちの人と買物に行った際、自分で買う物を選んだ経験はありますか。	
5	→ 選んだもの	
6	今までに一人で（または子どもだけで）買物をした経験はありますか。	
7	→ 一人で（または子どもだけで）買物をした経験の回数	
8	→ 買ったもの	
9	買物で困ったり、失敗したりした経験はありますか。	困った 経験
10	→ その時の対処法	
11	おうちの人がいり物で困ったり、失敗したりした話を聞いたことはありますか。	いろいろ な購入・ 支払い
12	インターネットを使って、自分で選んで買物をした経験はありますか。	
13	→ 何を買いましたか。	
14	ゲームや音楽、マンガなど、インターネット上で課金（料金を支払うこと）をした経験はありますか。	
15	→ それは何ですか。	
16	バスカードや図書カードをはじめとするプリペイドカード（お金の支払いができるカード）を使った経験はありますか。	

【参考資料2】題材を構成するためのチェックリスト（完成版）

題材を構成するためのチェックリスト（教師用）

チェック 関連する  
指導計画例

		チェック	関連する 指導計画例
1	買物の経験が多い		1-1
2	買物で困ったり、失敗したりした経験のある児童が、ある程度いる		1-1
3	児童のアンケート 買物の経験が少ない		1-2
4	現金以外の購入や支払いの経験のある子が、ある程度いる		重点化
5	その他（ ）		重点化
6	児童の状況 ※必要に応じて記入 育てたい力（ ）		重点化
7	課題（ ）		重点化
8	いろいろなお店（大型店、地域に根付いた商店、コンビニエンスストア等）がありますか		1-1
9	地域の状況（販売） 大体の児童に、徒歩圏内で買い物ができるお店がありますか		1-1
10	地域にお店がほとんどない地域ですか		1-2
11	学校行事 修学旅行等、買物の機会がある行事が近い時期にありますか		2-1
12	お世話になった人への感謝の会等、買物を取り入れることができる行事はありますか		2-2
13	家庭科との関連 家庭科の学習で、買物を取り入れることができる内容を予定していますか		2-2
14	家庭科の食生活の学習で、家庭実践を予定していますか		2-3
15	家庭科の衣生活の学習で、すずしい着方の学習が近くにありますか		2-4
16	環境に関する学習の経験はありますか		1-3
17	既習事項 総合的な学習の時間に、地域の特産品の栽培、飼育、製造に関わる機会がありますか		3-2
18	特産品（食品）を栽培、飼育、製造する人と関わる学習はしていますか		3-1
19	地域の状況（特産品） 社会の学習で取り上げられる身近な地域の特産品（食品）はありますか		3-1
20	特産品（食品）を栽培、飼育、製造する様子を児童が目にする機会がありますか		3-1



【参考資料3】題材全体を通した学習の流れ（完成版）

	学習の流れ	指導計画例 選択のポイント	選択①題材の導入	題材の学習課題	選択②実践活動 (購入する物を選ぶ活動)	選択③題材のゴールの活動	重点化できる 学習活動
指導計画例 1	生活経験や地域性に関わりを想起して課題を設定し、よりよい消費生活のために自分のできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお店の種類や買物の経験が多い地域がある</li> <li>・地域のお店も買物の経験も少ない地域もある</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 買物で気を付けていること (買物の経験)</li> <li>2 買物の疑似体験 (体験活動)</li> <li>3 環境と買物との関わり (既習事項との関連)</li> </ol>	よりよい買物をするためには、どのようなにしたらよいのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文具 (ノート、筆箱、ペン、のり等)</li> <li>・豆腐</li> <li>・卵</li> <li>・お菓子</li> <li>・野菜 (ねぎ、じゃがいも、キャベツ等)</li> <li>・加工品 (ハム、ベーコン、ワインナー等)</li> <li>・飲料</li> <li>・Tシャツ</li> <li>・水筒</li> <li>・布</li> <li>・地域の特産品 (野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等)</li> <li>・育てたもの (米、野菜等)</li> </ul>	<p>よりよい買物をするために自分のできることをまとめ、発信する。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よりよい消費者宣言」</li> <li>・「環境を守る買物の仕方」</li> <li>・「買い物名人〇か条」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報活用能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の収集</li> <li>・情報の分類、整理</li> <li>・情報モラル</li> <li>・セキュリティ</li> </ul> </li> <li>○言語能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交流</li> <li>・アンケート</li> <li>・インタビュー</li> <li>・模擬体験</li> <li>・ロールプレイング</li> </ul> </li> <li>○現金以外のお金の使い方</li> </ul>
指導計画例 2	学校行事や他内容と関連させて課題を設定し、目的に合った購入やよりよい消費生活のために自分のできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物の場面がある</li> <li>・材料選びと購入をする行事がある</li> <li>・食生活の内容で家庭実践と関連付けられる</li> <li>・衣生活の内容で材料の購入と関連付けられる</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 修学旅行の買物 (買物の場面がある行事との関連)</li> <li>2 お世話になった人への感謝の会 (材料選びや購入をする行事との関連)</li> <li>3 家族が喜ぶ食事作りの材料購入 : おかず・みそ汁 (日食生活の内容と関連)</li> <li>4 袋を製作する布の購入 (日食生活の内容と関連)</li> </ol>	目的に合ったよりよい買物をするようにしたらよいのだろう。	<p>※題材全体を通して指導の流れに合わせて決める</p> <p>※回数を決める</p> <p>例 : 1回 (導入と選び方) 2回 (選び方で繰り返す)</p>	<p>これからの自分の買物に活かしたいことをまとめ、発信する。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「買物名人〇か条」</li> <li>・買物の仕方パンフレットをまとめる</li> </ul>	<p>※必要に応じて題材の学習活動に取り入れる</p>
指導計画例 3	地域の特産品 (食) や学校での栽培体験の想起から課題を設定し、生産者にも目を向けながらよりよい消費生活のあり方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に特産品がある</li> <li>・学校での栽培体験がある</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 3年生の社会の学習の想起 (地域の特産品や作り手)</li> <li>2 学校での栽培体験を想起 (栽培時の思い、苦労)</li> </ol>	みんな (作った人、自分等) にとってよりよい買物にするためには、どのようなのだろう。	<p>【選択するポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が購入経験のある物</li> <li>・児童が身近に使う物</li> <li>・みんなが持っている物の中で、選ぶ観点が多い物や分かりやすい物</li> <li>・題材全体の指導の流れに関わる物 (行事、家庭科、特産品、栽培体験等)</li> <li>・環境に配慮した商品がある物</li> <li>・授業で扱いたい買物の観点で選ぶことができる物 (種類、鮮度、品質、期限、安全性等)</li> </ul>	<p>みんなにとってよりよい買物にするために自分のできることをまとめ、発信する。</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よりよい消費者宣言」</li> <li>・「買物名人〇か条」</li> <li>・生産者さんへの手紙</li> </ul>	